

広域連携中学生交流洋上体験研修 事業報告書



秦野市・中井町・大井町・松田町・二宮町・清川村

日程：平成27年8月1日（土）～3日（月）

～この事業には、市町村振興宝くじ「サマージャンボ宝くじ」の収益金が充てられています。～

目 次

1	あいさつ	1
2	研修概要	3
3	研修生内訳	4
4	研修プログラム	
(1)	事前研修	5
(2)	本研修	7
(3)	研修生の感想	20
(4)	お世話になった方々	43
5	アンケート	
(1)	研修生	46
(2)	保護者	49
6	資料	
(1)	望星丸の概要	56
(2)	広域連携中学生交流洋上体験研修事業実施要項	57
(3)	広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会規約、実行委員名簿	60
(4)	広域連携中学生交流洋上体験研修事業運営委員会規約、運営委員名簿	62
(5)	研修スケジュール	65
(6)	洋上サミット、出席者名簿	66
(7)	掲載記事（神奈川新聞、タウンニュース、広報はだの）	68

1. あいさつ

「次代を担う子どもたちへ」

秦野市長 古谷 義幸



洋上研修事業は、平成13年度に秦野市の21世紀記念事業として始まり、平成17年度から、広域連携中学生洋上体験研修事業となり、今年度で15年目を迎えました。

今回の研修では、1市4町1村の首長や教育長が乗船し、「広域ではぐくむ生きる力～子供たちの体験活動」をテーマに、平成20年度以来となる洋上サミットを開催しました。

これから、子どもたちには、さまざまな体験学習を通じて、社会との関わりや様々な世代の人々との交流を深めることで他人を思いやる心、社会生活を送っていくためのルールを学んでいってほしいと思います。

そして、私たちは、さまざまな自然体験の機会や地域の産業振興を図りながら、子どもたちの自主性・自律性を養うさまざまな社会体験の機会の確保し、1市4町1村が持つ、それぞれの個性を保ちながら子どもたちの育成に努めることを柱とした「洋上サミット宣言」を採択いたしました。

研修の3日間は、比較的波も穏やかで、子どもたちの船酔いも少なく、無事に本事業を終えることができました。

子どもたちと寝食を共にしましたが、子どもたちがすぐに打ち解け、協力し、互いに声を掛け合いながら行動したり、お互いを気遣う様子も見受けられ、環境適応能力やコミュニケーション能力の高さに驚かされました。

この研修で、自分の思いを達成できた人、新たな発見ができた人など、さまざまだと思いますが、日頃、経験することのできない大海原を体感し、また、船上での集団生活で得た経験をこれからの人生に生かして、荒海を乗り越える力を育ててほしいと思います。

本事業の実施にあたり、東海大学職員の皆様をはじめ、望星丸乗組員の皆様、新島村教育委員会の皆様、実行委員並びに関係者の皆様に、多大なるご支援をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

「一人の充実が他の充実に」



実行委員長兼統括責任者 野村 幸雄

今年も中学生が、希望と期待、そして、少々の不安を持ちながら、望星丸で新島に船出しました。

事前研修では、今まで体験した事のない事業に参加するのであるから、多くの中学生が自信なさそうにしていました。

参加者に、権利を充分発揮するように話をしましたが、一方で、自分以外の人にも権利があることを知りながら、頑張ってもらいたいことを付け加えました。時には、自分の権利を主張しすぎてトラブルの元になりやすいことも含めて、「権利と義務は一对である」が、義務については意識的に言葉にはしませんでした。当日は、時間がたつにつれて、参加した先生方の努力もあり、仲間意識も出てきて、いい雰囲気になっていきました。

この年代になるとよく、「みんなが持っている、皆がやっている」などと口にする人が多いのですが、この言葉は、自分の責任が欠落していることから発する言葉でもあります。

私は、船内や新島での行動で、良心と自覚ある実践を期待しながら、平成22年から実行委員長を務めてきましたが、「洋上研修要項」の趣旨に沿った行動や、参加中学生に沢山の期待と希望を確認したかったので、今回、初めて統括責任者として乗船することにしました。

実際に、船内での研修生の役割や班での行動は、すこぶる良好で感心させられました。特に、食事の配膳や食器洗いの流れは、自分から声を発し、班をリードしたり、また、ほかの班にその説明をしたりする研修生もいました。このこと以外でも、自分で気が付いたことを主体的行動するなど、いろいろなことで、研修生の意識が日々変わっていく姿が見受けられました。

新島での行事や、暑い中でのウォークラリーも含めたスケジュールも、気をゆるめることなく遂行していきました。私自身も、島の歴史の一端を見学する事ができ、自分のためにもなりました。

今、ここで3日間を振り返ると、参加者は、船に乗る事実と市町村の中学生である事の認識で、自覚が育ち協調性も自然に培われていくようで、言葉で諭すことも良いのですが、このように洋上研修であれば、言葉はいらぬように感じました。私が言葉にしなかった、「義務」は、スタンプや班行動等々で充分果たされていました。一人の充実が他の充実に繋がっていき、船での実体験は「心」に届き、言葉は、頭脳に届くようです。

最後に、船に乗る前の不安は、大きければ大きいほど、その分頑張れば、より多く得るものが大きいと思える研修でありました。

2 研修概要

1 目的

- (1) 秦野市、中井町、大井町、松田町、二宮町、清川村（以下1市4町1村という。）が市町村の枠を越えて東海大学の望星丸を用船し、中学生の体験研修事業を連携して行う。
- (2) 1市4町1村の中学生が船上の集団生活を通じて交流と連帯を深めることにより、自主性、協調性及び他人を思いやる心を養う。また、日頃経験できない洋上生活を行うことで心身を鍛える。
- (3) 海洋観測や島の歴史や自然にふれあうことにより、自然のすばらしさ、厳しさを体験する。
- (4) 本事業終了後、地域における社会活動へ自主的に参加し、指導的役割の担い手としての資質の向上を図る。

2 事業日程

- (1) 第1回実行委員会：4/28（火）
 - ・実施要項案、研修内容、予算案、規約案
- (2) 第2回実行委員会：7/6（月）
 - ・研修生の決定、運営委員の決定、救急医療対応等、洋上サミットの概要
- (3) 運営委員会：7/10（金）
 - ・運営委員会スタッフの役割、研修内容の確認
- (4) 事前研修：7/20（月）
 - ・自己紹介、集団訓練、研修内容説明等、班内打ち合わせ、役割分担
- (5) 本研修：8/1（土）～3（月）
- (6) 第3回実行委員会：11/24（火）
 - ・事業報告、決算

3 使用船

東海大学海洋調査研修船「望星丸」1，777トン

3 研修生内訳

1. 男女別

男子	女子	合計
48	25	73

内乗船経験者 (9) 人

2. 学年別

1年	2年	3年	合計
45	12	16	73

3. 市町村別

秦野市						中井町						大井町					
男	女	1年	2年	3年	計	男	女	1年	2年	3年	計	男	女	1年	2年	3年	計
27	6	22	5	6	33	6	3	6	0	3	9	2	5	4	2	1	7

松田町						二宮町						清川村					
男	女	1年	2年	3年	計	男	女	1年	2年	3年	計	男	女	1年	2年	3年	計
4	3	6	0	1	7	5	2	4	1	2	7	4	6	3	4	3	10

4. 学校別人数

	秦野市																			
	本町		南		東		北		大根		西		南が丘		渋沢		鶴巻		その他	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1年	2		2		7				3	2			5						1	
2年							2 ⁽¹⁾	1							2					
3年			1										1 ⁽¹⁾				4			
合計	2 ⁽¹⁾	0 ⁽¹⁾	3 ⁽¹⁾	0 ⁽¹⁾	7 ⁽¹⁾	0 ⁽¹⁾	2 ⁽¹⁾	1 ⁽¹⁾	0 ⁽¹⁾	3 ⁽¹⁾	2 ⁽¹⁾	0 ⁽¹⁾	6 ⁽¹⁾	0 ⁽¹⁾	0 ⁽¹⁾	2 ⁽¹⁾	4 ⁽¹⁾	0 ⁽¹⁾	1 ⁽¹⁾	0 ⁽¹⁾
	2 ⁽¹⁾		3 ⁽¹⁾		7 ⁽¹⁾		3 ⁽¹⁾		3 ⁽¹⁾		2 ⁽¹⁾		6 ⁽¹⁾		2 ⁽¹⁾		4 ⁽¹⁾		1 ⁽¹⁾	

※()は参加経験有

	中井				大井				松田					
	中井		その他		湘光		その他		松田		寄		その他	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1年	5	1			1	3			2	2	1	1		
2年						1 ⁽¹⁾	1							
3年	1 ⁽¹⁾	2 ⁽²⁾				1					1 ⁽¹⁾			
合計	6 ⁽¹⁾	3 ⁽²⁾	0 ⁽¹⁾	0 ⁽¹⁾	1 ⁽¹⁾	5 ⁽¹⁾	1 ⁽¹⁾	0 ⁽¹⁾	2 ⁽¹⁾	2 ⁽¹⁾	2 ⁽¹⁾	1 ⁽¹⁾	0 ⁽¹⁾	0 ⁽¹⁾
	9 ⁽³⁾		0 ⁽¹⁾		6 ⁽¹⁾	1 ⁽¹⁾			4 ⁽¹⁾	3 ⁽¹⁾		0 ⁽¹⁾		

	二宮						清川					
	二宮		二宮西		その他		緑		宮ヶ瀬		その他	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1年			2	2			1	1		1		
2年			1				2	2				
3年	1 ⁽¹⁾		1 ⁽¹⁾				1	2				
合計	1 ⁽¹⁾	0 ⁽¹⁾	4 ⁽¹⁾	2 ⁽¹⁾	0 ⁽¹⁾	0 ⁽¹⁾	4 ⁽¹⁾	5 ⁽¹⁾	0 ⁽¹⁾	1 ⁽¹⁾	0 ⁽¹⁾	0 ⁽¹⁾
	1 ⁽¹⁾		6 ⁽¹⁾		0 ⁽¹⁾		9 ⁽¹⁾		1 ⁽¹⁾		0 ⁽¹⁾	

4 研修プログラム

(1) 事前研修

と き

7月20日(月・祝)

ところ

秦野市保健福祉センター

3階 多目的ホール

内 容

午前中は、実行委員長兼統括責任者のあいさつ、指導主任と指導担当の紹介、研修の目的や概要説明、集団訓練を実施しました。

昼食後は、アイスブレイクという手法による仲間づくり、班内打ち合わせを行ない、班長など役割分担を決め、本研修での「洋上フェスティバル」の内容を話し合いました。

時間	主なスケジュール
9時30分	受付
10時00分	開会・あいさつ
10時15分	オリエンテーション
11時15分	集団訓練
11時45分	昼食
12時25分	アイスブレイク(仲間づくり)
13時00分	班内打ち合わせ(班長・副班長等の決定、洋上フェスティバルの出し物決定)
15時00分	閉会、解散

(2) 研修の写真



実行委員長兼統括責任者あいさつ

すべてのことを統括します。



指導主任・担当の紹介

2泊3日、研修生を担当する指導スタッフの紹介をしました。また、各市町村スタッフ、看護スタッフの紹介もしました。



オリエンテーション

過去の研修DVDを見て、注意点などの説明を聞きました。



集団訓練

集団としての行動を敏速かつ的確に行うため、整列や人員点呼などの集団訓練を行いました。



アイスブレイク（仲間づくり）

班ごとの打ち合わせがスムーズに進むように、また、今回の洋上体験研修に向けてそれぞれが認め合える雰囲気をつくることできるようにゲームで打ち解けました。



班内打ち合わせ

役割（班長、副班長、室長、副室長）決め、洋上フェスティバルの打ち合わせをしました。

(2) 本研修

【1日目】

1 とき・天候

8月1日(土)・晴れ

2 様子

晴天に恵まれた中、古谷義幸秦野市長、野村幸雄実行委員会委員長兼統括責任者から、あいさつをいただき、各町村の首長や教育長、実行委員を紹介し、出発式を行ないました。

波も穏やかで、船の揺れもあまりなく、今回は、洋上サミットが開催されたので、各町村の首長や教育長も乗船し、新島へ出発しました。

出港後、緊急招集訓練、船内オリエンテーション後、船内で昼食を終え、貴重な体験である船内見学をすることができました。

新島へ接岸後、露天風呂に入り、夕食は各市町村の首長や教育長と一緒に船の後部デッキで夕陽を見ながら、楽しく食べました。

3 写真



出発式

研修生代表が元気にあいさつしました。



清水港出発

行ってきます。

1 日 目	
時間	スケジュール
6	受付
	出発式
7	秦野市役所出発
	バス移動
8	富士川SA休憩
	バス移動
9	清水港着、乗船
	清水港出港
10	緊急招集訓練
	船内オリエンテーション
11	昼食
12	船内見学
	下船準備
13	新島港入港
	露天風呂
14	乗船
	新島港出港
15	夕食準備
	夕食(デッキディナー)
16	班内会議
	星空観測
17	航海日誌の記入
	消灯



緊急招集訓練

救命胴衣の着用方法などの説明を受けました。



船内オリエンテーション

船内での注意事項、生活について話が
ありました。



食事の準備

盛り付けの説明を受けながら、研修
生とスタッフで協力して食事の準備を
しました。



昼食

初めての船内食。
メニューは、チャーメン・春巻き。



食事の片付け

船内では、貴重な水をなるべく使わ
ない工夫をしながら担当の班員がみん
なで協力して食器洗いや食器拭きをし
ました。



船内見学

船員さんから直接説明していただき
ました。貴重な体験でした。



露天風呂

景色を見ながら、新島の自然を体感するため、港から歩いて露天風呂。仲間と一緒に気持ちもリフレッシュしました。



デッキディナー

後部デッキに集合し、夕陽を見ながら食事。潮風を感じて食べる食事は最高でした。メニューは、鶏肉の照り焼き、生野菜、ポテトサラダ、スープ、御飯。



班内会議

明日の洋上フェスティバルに向け、話し合いに熱が入ります。

星空観測

残念ながら曇り空のため、きれいな星空が見ることができませんでした。

【2日目】

1 とき・天候

8月2日（日）・晴れ

2 様子

新島に上陸して午前中は、酷暑の中でのウォークラリー。冊子の地図を基に、説明ポイントで指導スタッフが研修生へ説明し、新島の歴史や特産品について学びました。

午後は、待ちに待った海水浴。その後、露天風呂に入りました。船に戻り、夕食後は、後部デッキで洋上フェスティバルを開催しました。どの班も最高のスタンプを披露しました。

研修生は、船上の生活にも慣れ、新しい仲間とも打ち解け、残すは、あと1日となりました。

3 写真



朝のつどい

本日も晴天。ラジオ体操で眠気もすっきりしました。



清掃

船の清掃の指導を船員さんに受け、みんなで協力し船を掃除しました。

2 日目	
時間	スケジュール
6	起床
	朝のつどい・清掃
7	朝食
8	下船準備
	新島港入港
9	ウォークラリー
10	
11	昼食
12	記念のお土産探し
	13
14	
15	乗船
	新島港出港
16	班内会議
17	夕食準備
	18
19	
	20
21	航海日誌の記入
22	消灯



朝食

今日も1日楽しく過ごすため、しっかり完食しました。
メニューは、シーチキン、ロースハム、サラダ、玉子焼き、味噌汁、御飯。



ウォークラリー

いざスタート。暑い中、チェックポイントのモヤイ像や相馬主計の碑など歴史を学び、特産品「牛乳せんべい」屋さんでは、お土産を買いました。焼きだての牛乳せんべいは、おいしくて、ちょっとした行列になりました。



昼食

ウォークラリーでたくさん歩き、お腹はペコペコになりました。地元の住民センターをお借りしました。エアコンが効く中での昼食はちょっとしたオアシス。
メニューは、唐揚げ弁当。



海水浴

待ちに待った海水浴。安全担当の東海大学ライフセービング部の指導を聞いて、いざ海へ入りました。海が澄んでいてとてもきれいでした。



夕食

今日は、ウォークラリーに海水浴と充実した1日となりました。残すは、洋上フェスティバルです。メニューは、メンチカツ、ホタテのマリネ、ホウレン草のお浸し、スイカ、味噌汁、御飯。



洋上フェスティバル

みんなで打ち合わせをしてきた洋上フェスティバルがいよいよスタート。各班の発表の場です。ダンスに、劇に、クイズに、盛り上がりも、最高潮に達しました。そして、船長のスタンツ「かもめ〜」も最高でした。忘れられない夜となりました。

歴史を学ぼう・・・

新島ウォークラリー



新島歴史巡り資料

1 日程

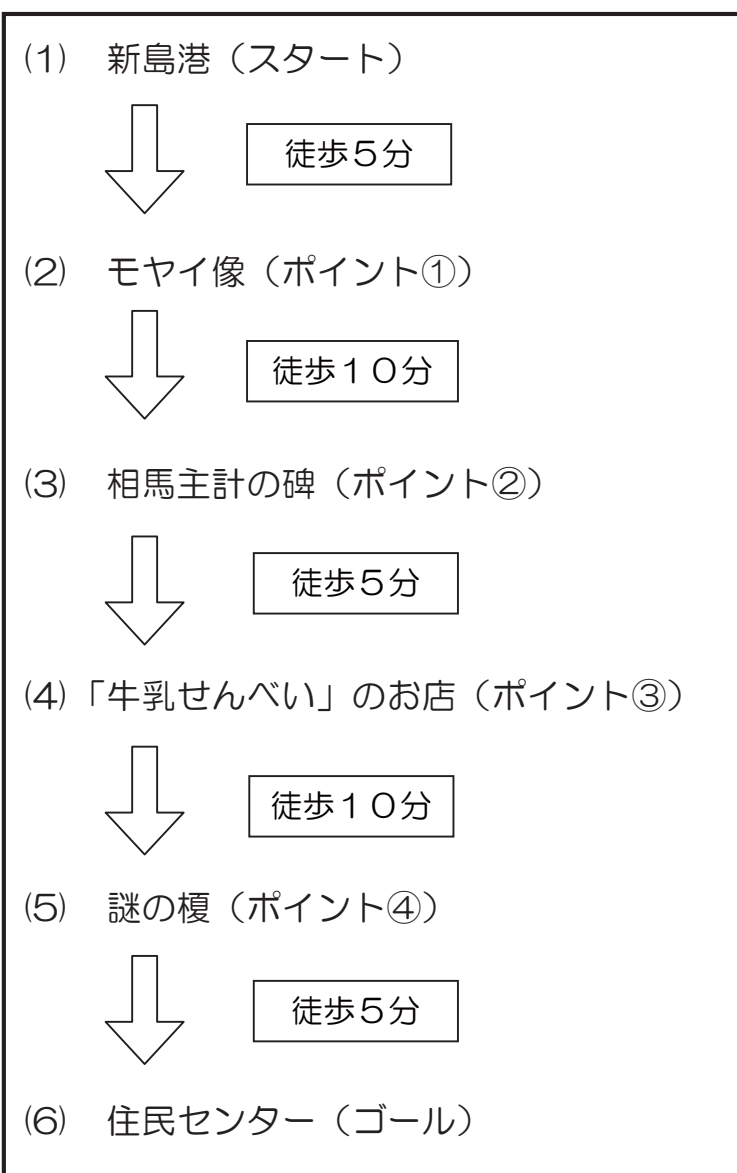
8月2日（日） 午前10時～午前11時

2 目的

新島の自然の中で、その歴史や特産物に触れよう！

興味を持ったことや面白そうなことは、メモして、後で人に聞いたり、自分で調べたりしよう！

3 新島歴史巡りのルート・時間



ポイント① モヤイ像

(1) モヤイ像は誰が考えた？

地元の芸術家・大後友市（ダイゴユウイチ）氏が考えたもので、昭和55年に彫り始めたのが最初といわれています。そのきっかけは、像の基になっている、「抗火石（コーガイシ）」です。とても貴重なもので、新島以外では、イタリアの「シシリー島」にしかないといわれています。



(2) 「モヤイ像」？「モアイ像」？

よく耳にするイースター島の「モアイ像」と新島の「モヤイ像」は全くの別物になります。「モヤイ」は「モアイ」を真似た名前ではありませんが、島の言葉で、「力を合わせる」「助け合う」という意味もあり、現在も島の人使っています。

ポイント② 相馬主計の碑

(1) 新撰組の最後の隊長！

相馬主計は、新撰組として函館戦争（慶応4年・1868年、別名：五稜郭の戦い）に出征し、最後まで戦い抜きました。新選組が降伏する際に、隊長として署名したため、新選組最後の隊長といわれています。



(2) 主計が使っていた扇子

新島へ流罪となった相馬主計は、刀の代わりにいつも扇子を腰に差していました。寺子屋を開いて島民に読み書きを教え、とても信望が厚かったということです。当時使用していた扇子のデザインが石碑のとおりです。

ポイント③ 牛乳せんべい

(1) 牛乳せんべいとは？

牛乳せんべいは、大正の中頃、豊富に生産されていた牛乳を用い、和菓子の製造業者が考案したものと言われています。牛乳を豊富に用い水をいっさい使わないのが特徴で、その上にバター、卵、砂糖を加えた栄養豊富な焼き菓子と知られ、新島のお土産としても人気があります。いろいろな柄もあり、お土産に買ってみたいはいかがでしょうか。



(2) 各島での牛乳せんべいがある？！

式根島、三宅島、大島、八丈島、新島とそれぞれの島で「牛乳せんべい」が名産物となっています。それも同じ製造元でなく各島独自のものらしい。しかも、味や食感が少し違うとのこと。

ポイント④ 謎の榎

(1) 謎の榎の由来・・・

寛政10年（1798年）、流人の清右衛門が罪に問われ、処刑される時に、自分の無実を叫び、その証として榎を生やすと訴えて死んでいきました。

まもなく、榎が生えてきたことから、その霊を慰めるため、墓石が建てられたと伝えられています。



(2) 新島は流罪の地だった・・・

新島は、流罪の地として、寛文8年（1668年）から明治4年（1871年）までの間、1,333名もの人が流されてきました。そのため、島内には、流人墓地をはじめ、流人に関する様々な遺跡があります。

【3日目】

1 とき・天候

8月3日（月）・晴れ

2 様子

朝食後、これまでお世話になった船へ感謝の気持ちを込めて、船員さんの指導により、大掃除を行いました。

海洋観測では、水圧実験、海洋深層水の体感を行うほか、東海大学海洋学部齋藤教授による海に関する講和などを行いました。

その後、清水港にて帰港式、秦野市文化会館第1駐車場で解散式を行い、研修が無事に終了しました。

3 写真



最終日の朝

班長のあいさつから朝が始まりました。

3 日 目	
時間	スケジュール
6	起床
	朝のつどい
7	朝食
8	
9	大掃除
10	海洋に関する講話
11	海洋観測
12	昼食
13	
14	下船準備
	清水港着
15	帰港式
	清水港出発
16	バス移動
	足柄SA休憩
17	バス移動
	秦野市文化会館着
18	解散式



朝食

すっかり配膳も片付けも慣れてきました。大掃除に向け、しっかりたべました。

メニューは、クロワッサン、オムレツ、ソーセージ、ミネストローネ、ヨーグルト、ジュース。



大掃除

各班手分けして、3日間お世話になった望星丸を綺麗に掃除しました。



海洋に関する講話

東海大学海洋学部の齋藤寛教授に、海について分かりやすく説明いただきました。

海洋深層水と水圧実験

観測機とカップ麺の容器を海底近くに沈め、カップ麺がどのくらい圧縮されるか実験しました。



水圧実験後

自分のカップ麺が、こんなに小さくなりました。海水の圧力と陸の圧力の違いに驚きました。



昼食

船内最後の食事も、おいしくておかわりしちゃいました。調理員さん3日間おいしい食事をありがとうございました。

メニューは、ハヤシライス、生野菜。



帰港式

楽しい3日間でした。

花束贈呈

花束を贈呈しました。船長さん3日間ありがとうございました。



(3) 研修の感想



1 班

平野 竜大 安藤 央翔 石川 恵大 相澤 杏子指導担当
小宮 俊汰 川野 智穂梨 大矢 慎之助 今野 巴那

○平野 竜大

ぼくは、この洋上体験研修に参加してすごくいろいろな人と仲良くなりました。ぼくは、あまり初対面の人と話すのは苦手でしたが、この洋上体験研修で少し克服できました。洋上体験研修は楽しかったです。

○小宮 俊汰

仲間と協力して、片付けやいろいろなことをしたので楽しかったです。本当は一緒に参加した子と班が別々になって、少し心配になったけど、同じ班になった子とも仲良くなれて2泊3日楽しく過ごせました。

○石川 恵大

前日まで、いったいどんな楽しみがまっているのだろうと思っていました。

そして、この洋上体験で学んだことは、新島にはいろんなことがつまっているんだと思いました。自分でも、不安がなかった体験だと思いました。

○大矢 慎之助

仲間達のきずな、交流で協力しあえたこと。これを機に積極的になりたい。

○安藤 央翔

ぼくが、洋上研修の中で、一番印象に残っているのは、自由時間に争い事になってしまったことです。家に帰って考えたら、争いごとになることはよくないことだと思いました。

二番目に印象に残っているのは、ケータイのパスワードをいじっていたら、次の日に忘れてしまったことです。夜にいじっていたら、そのまま寝てしまって、次の日起きたら忘れてしまっていて、急いで解読しようとしたけれど、完全に忘れてしまっていました。今回の研修で、団体行動でみんなが楽しく過ごすのは、難しいことが分かったし、次回参加することになったら、みんなが楽しめるように自分も努力したいと思いました。

また、夜眠い時には、余計なことはしないで寝た方が良いと思いました。洋上研修に参加して、色々な体験をさせてもらえて良かったです。

○今野 巴那

海の大きさと、水平線の丸さと、夕日の美しさなど、山に囲まれた清川村では見られない景色を見られたのが、自分にとってはとてもうれしいことであり、実際にこの目で見ることの素晴らしさと感動を忘れたくないと思えたので、良い経験になった。世界にはきっと、これより素晴らしく、巨大な自然と共に生きている人々がいて、私なんかには想像もつかない神秘的なものを信じる人もいるのだと考えさせられた。また、一人一人考え方も生き方も違う同じ年ぐらいの仲間に出会えたことも、私にとって大きな出来事である。学ぶことや、刺激の多い3日間だった。





2班

伊藤 和磨 立花 龍也 井手 篤大 小宮 勇馬

相澤 杏子指導担当 山内 琳子 菅原 望叶 井上 耕平 福田 大樹

○伊藤 和磨

今回の体験を通して学んだことは、船の中という、普段なかなか体験できない所で3日生活できて良かったです。できればまた、この体験をしたいです。

○立花 龍也

海の深さによって塩の量が変化するという。初めて会う人たちとの過ごし方などを学びました。

○菅原 望叶

他の中学校の人たちと交流ができて楽しかったです。今度は妹に勧めたいと思いました。

○小宮 勇馬

私は、最初の集まりで知らない人だらけですごく不安でした。私の中学校から出たのは友人と私の2人だけ。他の子は仲良く喋っていて仲良くできるのかなと友人とずっと話していました。でも、他中の子達はすごく仲良くしてくれたし、友人も解け込めているようで安心しました。

○井上 耕平

楽しかったので来年も行きたいです。

○井手 篤大

ぼくは、洋上研修に参加して、学んだことがあります。一つ目は、学年など関係なく、なんでも挑戦することの大切さです。ぼくは、1年生なのに出席式の交流宣言、班長、副室長をやらせていただきました。ぼくは、思いきって立候補しました。このできごとを通して学年など関係なく思いきって何でもチャレンジする大切さを学びました。

二つ目は、チームワークの大切さです。洋上フェスティバルの準備のとき、みんなは疲れてボーッとしている子もいました。そのとき、ある先生が「やるならくいの残らないようにかんぺきにやろう」とおっしゃっていました。その言葉を聞いて、みんな一生懸命準備し、本番で成功したときはうれしかったです。今回の体験でたくさんの子と友達になり、たくさん思い出ができました。望星丸のみなさん、新島のみなさん、バスの運転手さん、職員の方、また、洋上研修に参加させてくれた家の人たち、本当にありがとうございました。

○山内 琳子

村内の子供くらいしか、知りあえる友達がいなかったから、このような体験は本当に貴重でした。私は、知らない人には警戒して、あまり話しかけない性格だけど、同じ趣味を持つ人がいて、すぐに仲良くなり、自分のことを分かってくれる存在がいてくれる大切さを改めて感じました。来年もまた、是非参加させて頂きたいです。そこで、もっと新しいこと、面白いことを学び、今後を生きて行きたいです。

○福田 大樹

今回の洋上体験研修では、3日も船の上で生活するということをして、とても楽しかったです。カップ麺の容器を沈めたら、小指1本分くらいまでしぼんでいて「ここまで縮むのか」と驚きました。船の上で友達もできて楽しい3日を過ごすことができました。また来年も行きたいです。





3班

渡辺 航 高橋 春人 荒谷 舞指導担当 田中 俊晃

五本木 めい 高井田 愛香 諸星 友海 池田 大翔 佐藤 竣太

○渡辺 航

あまり人と接することが得意ではなく、洋上体験研修内で友達ができるか不安だったけど、実際に行ってみると仲間や先生達がとても優しく接してくれたので、緊張が解け洋上体験研修をとても楽しむことができて良かった。班長をやることで、班員や他の班の人とも関わりを持つことができたので班長をできたことを嬉しく思っています。機会があればまた行ってみたかったけど僕は3年なのでもう行くことができません。だから、今、小学6年生の人から中学2年生の人には是非、来年洋上体験研修に参加してほしいです。そして、めいっぱい楽しんでもらいたいです。

○佐藤 竣太

ぼくは、この研修に参加する前、上手くやっていけるかととても心配でした。しかし雰囲気も良く、少し安心しました。船の上で寝るのは初めてだったので、不慣れな点がたくさんありましたが先輩方が優しく教えてくれました。このように困っている人などがいたら、その場にいる人達が助けてあげるのがいいということを学びました。また、協力して行うミッションは、全員が心をつなげ、助け合って成功するものだと思います。

○高井田 愛香

私は、洋上体験研修の説明会に行く前の日、楽しみな気持ちと不安な気持ちがありました。いろいろな人と話すことは楽しみでしたが、その前に話しかけること、話を進めることができるのか。でも、全然心配いりませんでした。班のみんなはとても面白く、話しかけやすい人ばかりで、すぐに仲良くなれました。なので、研修の当日も、話し合いが良く進み、班行動もしっかりできました。他の班の人とも仲良くなれました。大切な友達もでき、とても楽しい研修になって良かったです。来年も参加して、自らたくさんの人に話しかけようと思います。

○五本木 めい

私は今年、初めてこの洋上体験研修に参加した。最初は緊張して、なかなか人に話しかけることができなかった。でも、周りの人が話しかけてくれたおかげで、友達もできたので、とても良い3日間を過ごすことができた。また、他の学校の人と交流することで、今までの私の知らなかった価値や物事のとらえかたが分かって、とても勉強になった。

○諸星 友海

今回の洋上体験研修はすごく楽しかったです。でも、お土産を買う時間や、海に入る時間が少なかったと感じた。あと、スマホを持ってくるのを禁止にした方が良いと思う。スマホを持ってきていた子ほとんどは船の中でもゲームやLINEをやっていた。それって、なんか「おかしい」と思う。それに、星空観察の時なんかはみんなスマホをやっていたのでスマホの光で、ぜんぜん星が見えなくて迷惑だった。でも、楽しかったことはすごく楽しくて良かった。

○池田 大翔

深海の水や深海にいる生き物をもっと色々知りたかったです。深海では水圧があるのでカップラーメンがつぶれたことが衝撃でした。もっと深いところに行くと水圧がすごくなるのもっと小さくなると思いました。また、来年も行ってこんどは教えてもらう側ではなく、中1の子に教えてあげられるようになりたいです。

○高橋 春人

自分は、ほかの学校との交流で色々の友達が増えてうれしかった。深海の海水はとても冷たく、しょっぱくてとても良い経験になった。





4班

栗田 望冬 吉村 隼大 荒谷 舞指導担当 飯沼 一帆 重野 颯良
 黒田 隼人 林 颯大 橋本 千文 石井 愛

○栗田 望冬

私に似た境遇の人とかたくさん友達になりました。洋上フェスティバルで2位をとれて良かったです。今年で2年目だから、内容も同じかなと思っていたけど、今度は少し違う内容で、今年もとてもおもしろかったです。できれば来年も今年のように参加したいです。

○吉村 隼大

他の市や学校の人たちと意見を出し合ったりするのは、とても良い経験になり、そして楽しかったです。今回は、2度目の参加で、昨年ひと通り経験していましたが、改めて参加すると、船の中での規則、不自由な中での生活は、やはり少し厳しかったです。

○飯沼 一帆

多学年の人達と交流を深める事ができ、とても良い経験になった。初めて船に乗り、なかなか経験できない事を体験することができた。

○重野 颯良

同じ学校の者と同じ班にならないのを知っていたので、少し不安でしたが参加してみると皆声をかけてくれて、すぐに友達ができました。とても楽しかったので参加して良かったです。これからは、自分から声をかけてみようと思います。

○橋本 千文

私は、洋上研修に参加して良かったと思います。なぜなら、洋上研修に参加したことで、良い経験になり、楽しい思い出も増え、成長することもできたからです。私が一番思い出に残っているのは洋上フェスティバルです。みんなで案を出し合い、一緒につくり上げていくことは、班内で仲良くなるきっかけにもなり、考える過程も楽しかったです。また、きっちりとした厳しいルールの下で生活するのは、大変かなと思っていましたが、実際は、協力することで、より心地良い充実した時間が過ごせました。新しくできた友達もたくさんいるので、来年も参加したいです。楽しく充実した時間をありがとうございました。

○黒田 隼人

ぼくは、お母さんに言われて洋上研修に行きました。最初は少し面倒だったけど、行ってみたら意外と楽しかったです。自由時間にはたくさんの人と遊びました。仲良くなった人とは、来年も来ることを約束しました。でも、朝が早いのでとても疲れしました。でも、規則正しいことなので日々の生活でも取り入れたいです。

○林 颯大

まず、知らない先輩と一緒にの班になって、トランプを一緒にして仲良くなったことが一番の思い出です。

○石井 愛

いろいろな中学生と仲良くなれて良かったです。また、普段、私は朝起きられないのですが、みんなで生活していく中でしっかり起きられたので自信ができました。また、参加したいと思います。





5班

佐藤 孝成 中野 陸斗 工藤 大地 野田 悠希
今村 悠奈 成川 愛 鈴木 愛理 宮本 芽生指導担当

○佐藤 孝成

最初は、他校の生徒と友達になれるか心配だったけど、トランプなどで遊んで仲良くなったり、一緒に御飯を食べて楽しく過ごせました。そして、スタンプは、少しの時間しか練習ができなかったけど、みんな必死にやっていたのですごいと思いました。帰りも友達になった子と仲良くバスに乗って帰ってきました。

○野田 悠希

いつも学校にいる同級生などは、どのような性格なのか、どういったことが好きなのかなどは分かっていますが、他校の人は最初全く分かりません。そんな中、自分はやっていけるのかなと不安になりましたが、全く心配することなく楽しめました。先生方やライフセービング部の方もみんな優しく私たちを助けてくれたので、この洋上体験はうまくいったものだと思います。

○中野 陸斗

初めての洋上体験は少し不安があったけど、1市4町の人と協力し、いろいろなことを体験できました。また、船で行っている工夫や、普段、味わえないようなことができよかったです。

○工藤 大地

色々な中学生と交流した船上での生活は、とても楽しかったし、普段、体験できない貴重な時間だったと思う。ただ、船上で中学生と交流することだけでなく、船内見学で船の詳しい事を学んだり、海水浴などは、みんなのために、楽しく過ごせるようにスタッフのみなさんも考えてくださったんだと思います。2泊3日という長いようで短い時間は、今も胸に焼き付いています。それだけの楽しさを学んだことは大きいものだったと思います。素晴らしい体験でした。また、機会があれば参加したいです。

○成川 愛

私は、この研修でいろいろな体験をしましたが、いろんな人と話せて、学校の話で交流できたり、また困った時は、協力してクリアできることがあるととても嬉しかったです。このような研修があるのはとてもいい経験になると思いました。

○今村 悠奈

とても楽しい3日間でした。最初は、緊張したけど、早く打ち解けて、とてもいい思い出になりました。船の上で朝から夜までずっといたことはなかったし、新島に行く機会もなかなかないので、いい経験が積めたと思います。

○鈴木 愛理

洋上体験研修に参加して、私はとても貴重な体験をしました。初めて船に乗ったので、不安や心配なことはたくさんありましたが、分からないことがあったときは、優しく接してくれる大人の方々や、笑顔でなんでも教えてくれる頼もしい先輩など、温かい仲間達と出会え、とても楽しい3日間となりました。また、今回の洋上体験で一番面白かったのは、洋上フェスティバルです。班の仲間とダンスの振り付けを考えたり、とても楽しい時間でした。来年もまた、洋上体験研修に行きたいです。





6班

山口 玲於 須田 祐介 岩本 悠生 小野 駿介
 山口 美優 平田 愛奈 腰越 遥 宮本 芽生指導担当

○山口 玲於

船上や島での生活をして水の大切さを感じました。売っている物が自分達の住んでいる所とは違って、島では、いつでも物が入って来ないという生活は大変だなと思いました。これから、いつもの生活では、もっと水や物を大切にしようと思いました。他の市町村の中学生との交流はとても楽しかったです。もっと他の市町村の中学生と交流してみたいと思いました。

○須田 祐介

普段とは全く違う人たちとの交流で、いつもとは違う話しや経験ができてとても楽しかったです。

○岩本 悠生

船上見学がとても面白くて良かった。

○小野 駿介

今回の洋上体験研修で初めて船に乗って、とても楽しかった。違う中学校の人たちと友達になれてものすごく良く、夏休みはなにもしなかったのでもいい体験になりました。次回も絶対行きます。

○山口 美優

ウォークラリーでは、班で協力することの大切さを学べたと思う。洋上フェスティバルでも自分の班の人たちと協力することの大切さと、意見を出し合わないといけないのが、分かりました。

○腰越 遥

仲間と協力して、片付けやいろいろなことをしたので楽しかったです。本当は一緒に参加した子と班が別々になって、少し心配になったけど同じ班になった子とも仲良くなれて2泊3日楽しく過ごせました。

○平田 愛奈

私は、今回、洋上体験に参加して、感じたことは、なかなか知り合える事のない、他校の中学生といっしょに過ごした事は、とても貴重な体験となりました。最初は、少し不案内な気持ちもありましたが、すぐに友達ができました。特に、初めて、乗った船での海洋調査で海の広さと海底の深さや、カップめんの実験は、びっくりしました。また、海の大切さを感じました。ウォークラリーでは、班ごとに、行動し、仲間の大切さみんなと協力し合っ、ゴールまで、たどり着いたことや、海水浴も、とても楽しかったです。そして、また洋上体験に参加してみたいと思いました。最後に、スタッフのみなさんには、感謝しています。





7班

野川 遼 秋山 弘俊 金子 彩斗 望月 聖士指導担当
 齋藤 耀佑 相原 萌江 稲葉 夢乃 笹原 和優理

○野川 遼

井の中の蛙大海を知らずとはこのことでした。1市4町1村の広さでも、たくさんの特徴を持つ人々がいました。たくさんの友達ことができました。新島の歴史を知ることができてうれしいです。望星丸を見た時は大きさにビックリしました。また、乗りたいです。

○秋山 弘俊

新しい友達ができ、とても良い時間だった。スタンプは楽しかったし、星空観測は、曇りだったけど2個、星が見えた。星空観測の前に見たテレビが長かった。船内見学の時の案内人が面白かった。

○金子 彩斗

生活環境が普段と全く違う場所でしたが、すぐになじめ、新たな仲間とも協力をして3日間を過ごすことができました。



○齋藤 耀佑

ぼくは、楽しみにしていたことや不安なことが、他の中学校の人たちとの交流でした。しっかり友達がつくれるかななどの思いでいっぱいでした。でも、みんなが優しくしてくれたのですぐに友達になりました。他の中学校の人と一緒に御飯を食べるなどという体験は、経験したことがないのでとても楽しかったです。また、新島ではすごく海がきれいだったことにびっくりしました。また来年になったら、洋上体験研修にもう一度参加したいです。

○相原 萌江

最初は、班のみんなとあまり話せなかったけど、お昼御飯のときにみんながパセリをちゃんと食べて、そこから気軽に話せるようになって、そこはすごく良かった。みんな完食して偉かった。

自分自身で変わったことは、普段、自分から動かなかったのに船では自分から動けたことです。洋上フェスティバルは、練習から楽しかった。優勝することはできなかったけど、みんな楽しそうにやってくれたから班長やっていて良かった。知らない人と同じ班になって不安もあったはずなのに、みんながみんな自分から動き、よく話し、笑って、すごく楽しい班だった。私は、3年だからもう参加できないけど、またみんなとどこかで会えるといいなと思っています。

○笹原 和優理

初日は、朝から緊張していたが、班内のみんなも優しくしてくれてすぐに打ち解けることができた。私の交友関係は男女を問わず、年下の1年生や2年生にまで広がった。他校だからこそ相談できる悩みごとなども相談されて、たった3日間という少ない日数だったが、とても楽しく充実した日を過ごせたと思う。また、船内の設備のすごさや、水圧、船から見えた満月。どの体験もすばらしくいろんなことを学ばせてもらいました。



8班

水谷 奏心 名古屋 拓帆 中島 佑太 望月 聖土指導担当
 酒村 政輝 安井 翔 青木 杏菜 須藤 翠

○水谷 奏心

今回の体験は、とても珍しい体験だったのでとてもいい勉強になった。また、船内での友達との交流も、たった3日なのにとても盛り上がり楽しかった。船の仕組みや海についても身をもって感じた。この体験を一生忘れたくないと思う。

○酒村 政輝

人との交流でどのように相手に接していけばいいのか改めて分かりました。あと、人ともめたりした時にどのように対応し、そして、どのように仲を直せばいいのか改めて分かりました。

○中島 佑太

当日行くまでは、不安な事もあったが行ってみると知らない友達とも仲良くなる事ができ、普段できない経験ができて良かった。また、来年、予定が合えば行きたいと思います。

○安井 翔

友達が多くできた。正直フェスティバル優勝したのに景品が昨年よりショボかった(笑)

○名古屋 拓帆

この洋上体験研修に参加する前まで、初めて出会う中学生たちと上手くやれるかなと正直心配していました。でも、事前研修に行ったとき仲間ができ、洋上フェスティバルの計画のことを相談していたときなどはとても話が盛り上がり、行くのがとても楽しみになりました。そして、本研修の日は、わくわくして、朝4時に起床。バスの中も船の上でも楽しい思い出ばかりです。

2日目の洋上フェスティバルでは、色々な演出の方法を見ることができとてもおもしろかったし、同じ班の友達と、たくさん話し合っって作り上げた8班の劇が優勝となり、とてもうれしかったです。

3日目の海洋調査はとても興味深く夏休みの自由研究にさせていただきました。この研修で海のことを知り、海の環境汚染などについてもまじめに勉強しなければと思いました。とても充実した研修だったので、これからも続けてください。

○青木 杏菜

去年も行ったけど、参加した人は全員同じというわけではないから、たくさんの人と交流できたり、新島のことも去年よりさらに分かってきたり、触れることができました。船の上での生活というのは、もう最後かもしれなかったのも、とてもいい体験だったと思っています。

あいさつなどのコミュニケーションを取ることは、身近なことに使えると思うので洋上体験はとても勉強になる場所だと思います。

○須藤 翠

友達ができるか心配だったけど、できたので良かったです。洋上フェスティバルで、他の班を見るのが楽しかったです。それに優勝できたのでうれしかったです。最初は心配だったけど、海水浴やウォークラリーができて良かったです。想像したより楽しかったです。





9班

河原 悠大 石川 伊織 梶原 拓人 尾上 明日菜 小澤 直彦指導担当
 谷口 柊翔 田中 力輝 澁谷 俊太 杉崎 海織

○石川 伊織

班の皆と会った日、初めて会ったのにもかかわらず、すぐ仲良くなりとてもうれしかったです。また、友達がいっぱい増えたので良かったです。洋上フェスティバルでは、班のみんなと協力して楽しくできたので、またやりたいと思いました。また行くことができれば、行きたいです。夏のいい思い出になりました。

○尾上 明日菜

違う学年の人と好きなものの話しができて楽しかったし器の大きい人で話しやすかったので、面白かったです。

○澁谷 俊太

船の中だから、不便なことが多かったが、それをどうするかをよく考えて行動することができた。だけど自分一人じゃできないときなどは班の人たちに助けってもらったり失敗したら笑って盛り上がったたりして、班行動の楽しさうれしさを感じられた。

○梶原 拓人

ぼくは、初めて洋上体験研修に行ったので、やっぱり、事前研修の時など友達がつくれるか心配だったのですが、だんだん話していくうちに仲良くなれて良かったです。ほかにも、洋上フェスティバルなど、班で協力して1つのものを作り上げることで、班の中の友情が深められてとても良かったです。もし、来年も行けるなら、行きたいです。

○杉崎 海織

団体行動の大切さが分かった。同じ班の人が、よく遅れて他の班員が嫌な気分になっていたから、自分は集合時間に間に合うようにして、他の人に迷惑はかけたくないと思った。

○田中 力輝

3回目の洋上体験研修事業でしたが、班長ということもあり、初めての事もたくさんありました。班長として班のみんなを引っばっていくこともそうですし、研修生代表の言葉はすごく緊張しました。海洋の事についても、新しい知識を得ることができました。

○谷口 柊翔

ぼくは、この洋上研修に参加して学んだことがあります。それは、仲間との交流の大切さです。ぼくのグループには、知っている人が誰もいませんでした。「この人はどんな性格なんだろう？」など、いろいろな不安がありました。でも、いろいろな交流により、わずか1日でとても仲が良くなりました。そして洋上研修の3日間でさらに仲が深まりました。この研修は仲間との交流の大切さと、貴重な体験をくれました。また、このような体験があったら、積極的に参加したいと思います。





10班

永田 瑞歩 升澤 来流 上杉 雅也 小澤 直彦指導担当
大津 健太郎 羽切 爽 大内 貴徳

○永田 瑞歩

私は、初対面の人とでもうまくやっていけるのかを確かめるために、この洋上体験に参加しました。事前研修で、始めは、少し距離を感じましたが、アイスブレイクや洋上フェスティバルの打ち合わせを通してとても和やかな雰囲気になり、当日がとても待ち遠しく、楽しみになりました。体験初日の昼食から私たちの班は、配膳当番で大変でした。でも、だからこそ信頼が深まったのだと思います。

2日目のウォークラリーでは、経験者が先頭に立ってみんなを引っ張ってくれました。洋上フェスティバルでは、今まで私は大勢の前に出ることがなかったので、とても緊張してしまいましたが、実際に私たちのスタンプが始まったらそんな緊張は吹っ飛んで、楽しむことができました。班の人たちのお蔭でとても充実した3日間を過ごせました。まさに「一期一会」の仲間達との思い出が、これからも私を勇気付けてくれると思います。

○上杉 雅也

船で酔ってしまった。小学校で一緒だった中井の友達にたくさん会えてうれしかった。他の町の友達ができた。

○大内 貴徳

洋上体験に初めて参加したけど、友達ができ
て楽しかったです。また、来年も参加したいで
す。

○大津 健太郎

ほかの中学校の人たちと交流できたし、船内見学ではいろいろな機械で動いているすごいと思っ
たし、新島ウォークラリーでは「モアイ」ではなく「モヤイ」でその「モヤイ」は、ほかの島にもあるか
らびっくりしました。洋上フェスティバルでは、いろいろな班の発表が聞けたから良かったし、でも自
分の班は入賞ができなかったからちょっと悔しかったです。

○羽切 爽

私が、この洋上体験を通してたくさんの友達ことができました。自分の班だけでなく、ほかの班の人達
にも積極的に声をかけて、より多くの友達ができるように努力しました。そのおかげで、充実した3
日間を過ごせました。私は、1日目のバスの中でも、楽しみで楽しみで仕方ありませんでした。とな
りに座っている人と話したり、トランプをしたりしました。

2日目は、島内ウォークラリーが楽しかったです。初めてからすぐに道を間違えて迷子になってし
まい大変でしたが、とても良い思い出になりました。

3日目は、他の班とのハプニングがあって、最後の最後に、びっくりするほど疲れました。でも、
とても楽しかったです。来年も絶対に参加します。夏の思い出を作ってくださいありがとうございました。

○升澤 来流

他の中学生たちとたくさん協力することで新
たな絆や友情が生まれて、いい経験になった。



各指導担当の感想

○指導主任 林 健治郎

昨年度に引き続き、洋上体験研修に指導担当として参加させていただきました。昨年の経験を生かし、より良い研修ができるように心掛けました。また、今年度は、7年ぶりに参加自治体の首長や教育長が乗船して、「洋上サミット」も開催されると聞き、身が引き締まる思いで研修に臨みました。

7月20日に実施した事前研修では、昨年度と同様に洋上フェスティバルのスタンプの打ち合わせに多くの時間を使わせていただきました。初対面同士でスタンプを検討するというのは、とても難しい課題ですが、発表までに色々と意見を交わすことで、自主性・協調性が育まれるのではないかと考えています。2日目の夜、デッキを舞台に発表したスタンプは、どの班もとても素晴らしく、本当に少ない時間の中で脚本を書いたり、小道具を作ったり、ダンスを覚えたりと、改めて「子どもたちってすごい」と感心しました。

2日目の体験活動では、新島でのウォークラリーと海水浴が中心でした。ウォークラリーでは、島内にあるモヤイ像（モヤイ・・・島の言葉で力を合わせる・助け合うという意味があるそうです）や、流罪となった人の石碑を巡りました。昼食後の海水浴では、「早く早く・・・まだ入っちゃダメ？」と目をキラキラさせながら、準備体操が終わると一目散で海に向かって走って行きました。透明度が非常に高い海で、大はしゃぎをしていた子どもたちの姿が印象的でした。

あっという間の3日間でしたが、天気にも恵まれ、子どもたちはとても貴重な体験ができたと思います。市町村の枠を越えてたくさんの仲間や様々な人と交流し、「来年も参加したい」と言う子どもたちもいました。研修担当としては、この洋上体験研修での経験が、今後の日常生活に是非活かされることを望んでいます。

○1・2班指導担当 相澤杏子

この研修に参加して感じたことは、私の学級の子どもたちも、中学生になったら、洋上研修に参加した中学生のようになるんだなと考え、成長が楽しみになりました。そして、中学生やスタッフの方でたくさんの魅力的な人に出会い、「こんな風になりたいな」と思う自分と、そうできない自分の間で葛藤や「自分らしさ」を考える時間があり、その時間は幸せな時間だった。そう思わせてくれる人たちに出会えて幸せ者だなと思いました。

最後に、「行った先には何かある」最初はドキドキするけど、行ってしまえば必ず何かを得られます。また次のチャレンジをするエネルギーになりますので、来年参加しようかどうか迷っているみなさんぜひ参加してみてください。

03・4班指導担当 荒谷 舞

幸い私は海の町に生まれ、海の町で人生を過ごしてきたため、海が大好きで、船も大好きでした。ですから、今回の洋上研修という題名を聞いただけで、とてもわくわくしていました。しかし、それと同時に、普段接していない中学生と船という非日常空間で生活するということが不安もありました。不安と希望が入り混じった航海のスタートでした。

しかし、その不安は事前研修に参加した時点で消えました。スタッフの方たちの温かい笑顔、中学生の一生懸命な姿、パワー溢れる姿を見て、不安に思っていた自分が馬鹿らしく思えました。そして、期待がより一層膨らみました。期待の通り、この研修はとても素晴らしいものでした。登舷礼、洋上フェスティバル、新島の温泉、ウォークラリー、デッキディナー、星空観察、そして星空に負けないみんなの笑顔。どれも私にとってかけがえのない宝物になりました。この経験を通して私は一回り成長して帰ってくることができました。また来年も参加して二回り成長して帰ってきたいです。

05・6班指導担当 宮本 芽生

洋上体験研修での経験は、自分の大きな財産となりました。中学生との2泊3日という時間は、終わってみるとあっという間に感じ、その一つ一つの時間に満足感と感動を覚えました。

この研修に参加すると分かったときには、中学生との出会いとふれあいを楽しみに思う期待感と同時に、私に中学生の指導担当が務まるのか、どんな指導をすればよいか自信がなく大きな不安を感じてしかたありませんでした。しかし、子どもたちと出会って考えを改めさせられました。初めて顔を合わせたメンバーであるにも関わらず、様々な活動を通してどんどん仲を深め、あっという間に自分たちで自分たちに必要なことを考え協力し行動していくのです。もちろん会ってすぐは緊張している様子がかえりましたが、徐々に心を開き話がはずみ、洋上研修をみんなで成功させようという一体感が生まれていました。私が指導しその場を何とかするのではなく、思考錯誤を重ねながら何とかしていくのは、子どもたち自身であり、私たち指導担当はそれを見守り、全力で応援しサポートすることが何より大切だと感じました。特に、この短期間で仲間になった子どもたちが洋上フェスティバルに向けて本当に一生懸命練習を重ね、本番で生き生きとした表情を浮かべてその成果を発揮する姿を見た時、感動せずにはいられませんでした。

洋上研修で得た実り多い学びを、これから子どもたちとの関わりに活かしていきたいと思います。このような機会を与えていただいたことに感謝しています。

07・8班指導担当 望月 聖士

私にとって2泊3日の洋上研修は、多くのことを経験できた貴重な時間でした。私は、中学校の子どもたちと生活を共にすることが初めてであり、少し不安を抱いていましたが、振り返るととても充実した時間を過ごすことができました。

事前研修では、出会ったばかりということもあり子どもたちの表情は硬く、緊張している姿も見られました。ところが、当日になると、スタンプの打ち合わせで楽しそうに意見を交わり、笑い合いながら練習に取り組んでいました。その姿を見て、改めて子どもたちのすごさを実感することができました。また、食事の準備でも、自分たちの役割を一生懸命果たしながら、声を掛け合って協力して行うことができました。

子どもたちの成長だけではなく、自分自身の成長も実感できた研修でした。

09・10班指導担当 小澤 直彦

今回、初めて子どもたちと対面したのは、この洋上体験研修当日の朝でした。急遽乗船が決まり、子どもたちとあいさつをしながら出席をとり、名札や荷札等を配付しました。自分もだいぶ緊張していたことを思い出します。子どもたちの方も「あれっ?」と思っていたことでしょうか。事前研修の時とは違う人が受付をしていたのですから。

今回の洋上体験研修で改めて実感したことは、人間関係の構築の過程です。自分を含め、偶然班が同じになったメンバーと、食事の準備や片付け、島内のウォークラリー、洋上フェスティバルの準備・発表など共同作業をやっていく中で、それぞれの個性を認め合い、人間関係が構築されていく様子がよくわかりました。大きな目標でも、小さな目標でもみんな協力して取り組むことの大切さを学んでくれたことと思います。この夏の経験を学校生活に活かしてほしいと願います。



(4) お世話になった方々



東海大学 海洋研修船望星丸
荒木 直行 船長



東海大学 海洋研修船望星丸
住吉 雅貴 事務長



望星丸乗組員の皆さん



統括責任者
野村 幸雄 実行委員長



本部スタッフ 安全担当
東海大学海洋学部 水産学科副主任
齋藤 寛 教授



本部スタッフ 安全担当
東海大学ライフセービング部
程原杏さん、伊藤光さん、嶋田廣人さん



各市町村の事務局スタッフ及び望星丸関係者の皆さん

本部スタッフ



運営管理者
秦野市生涯学習課
佐藤 正男



運営担当
秦野市生涯学習課
磯崎 篤



運営担当
秦野市生涯学習課
小泉 祐介



洋上サミット随行
兼運営担当
秦野市企画課
櫻井 秀樹



洋上サミット随行
兼運営担当
秦野市広報課
大森 祐介



運営担当
中井町教育課
宇佐美 友紀



運営担当
大井町生涯学習課
小瀬 さかえ



運営担当
松田町教育課
吉田 優奈



運営担当
二宮町生涯学習課
佐藤 朝美



運営担当
清川村社会教育係
櫻井 孝之



看護担当
中井町健康課
本田 裕



看護担当
大井町子育て健康課
森川 真紀子



指導主任
秦野市教育指導課
林 健治郎



指導担当
秦野市教育指導課
小澤 直彦



指導担当
秦野市立大根小学校
相澤 杏子



指導担当
秦野市立渋沢小学校
荒谷 舞



指導担当
秦野市立広畑小学校
宮本 芽生



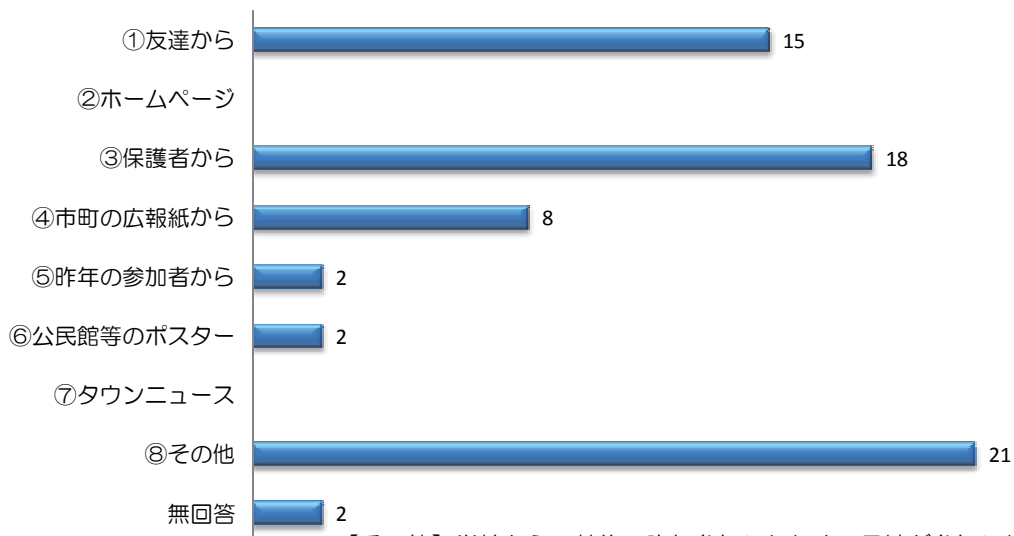
指導担当
秦野市立西小学校
望月 聖士



5 アンケート

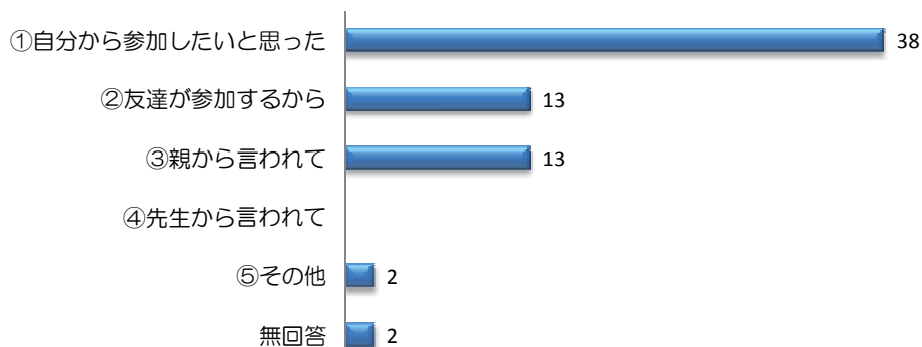
(1) 研修生アンケート（回収68件／73）

① この研修を知ったきっかけは何ですか



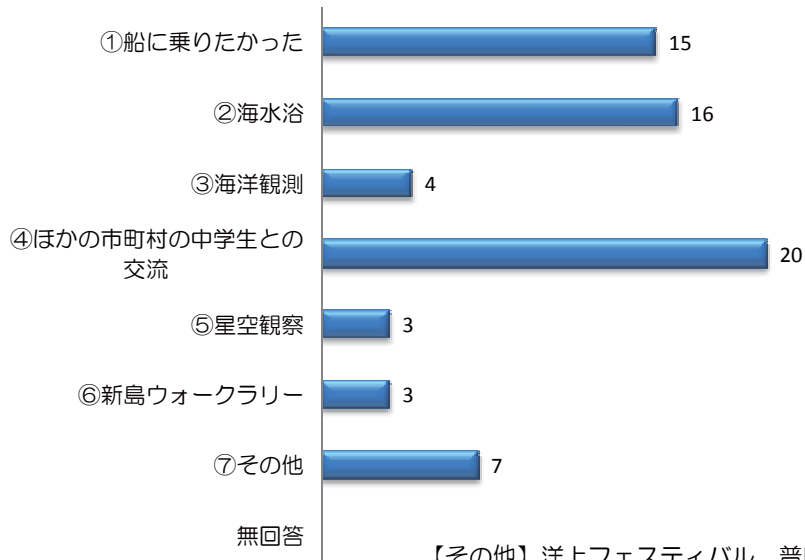
【その他】学校からの募集。昨年参加したため。兄弟が参加したので。

② この事業に参加を申し込んだ理由は



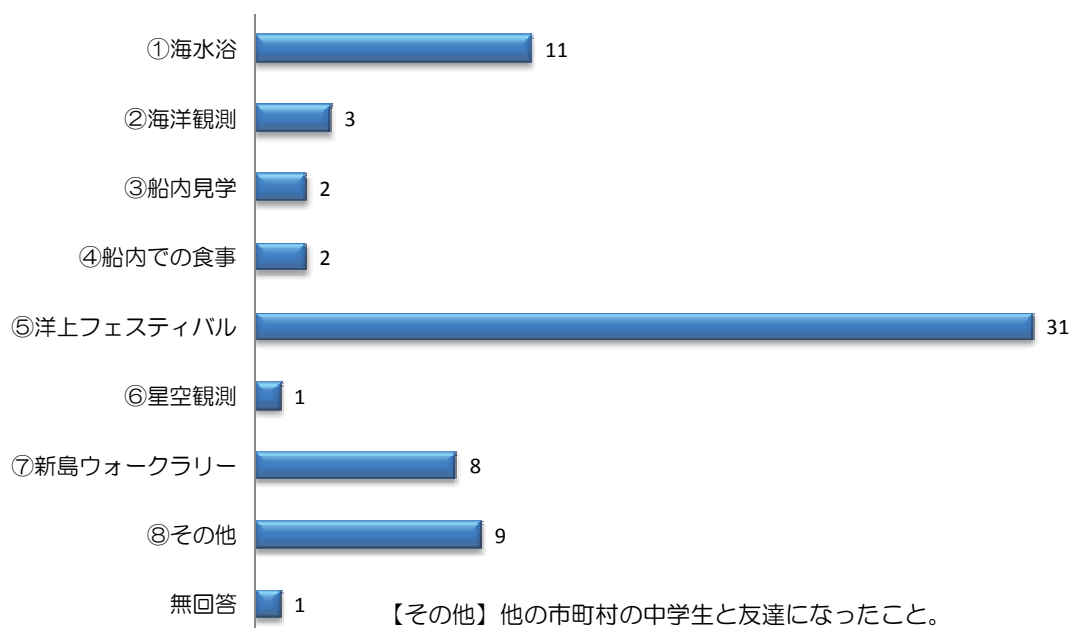
【その他】兄弟からの勧め。

③ 研修で楽しみにしていたことは

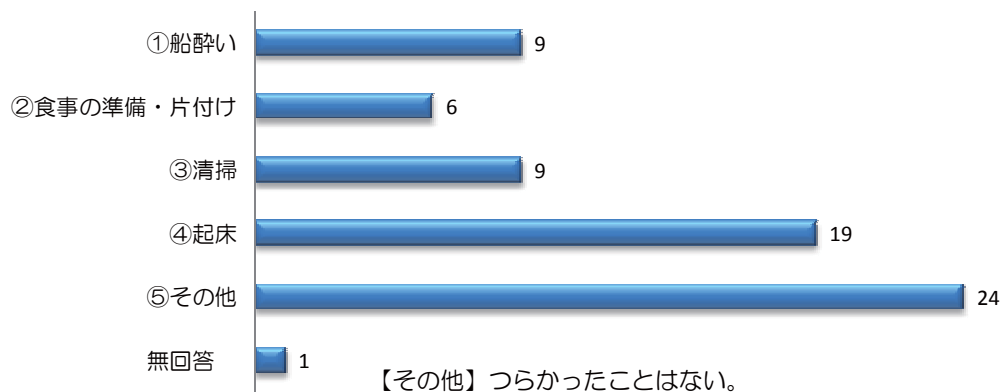


【その他】洋上フェスティバル。普段できないことを経験したかつ

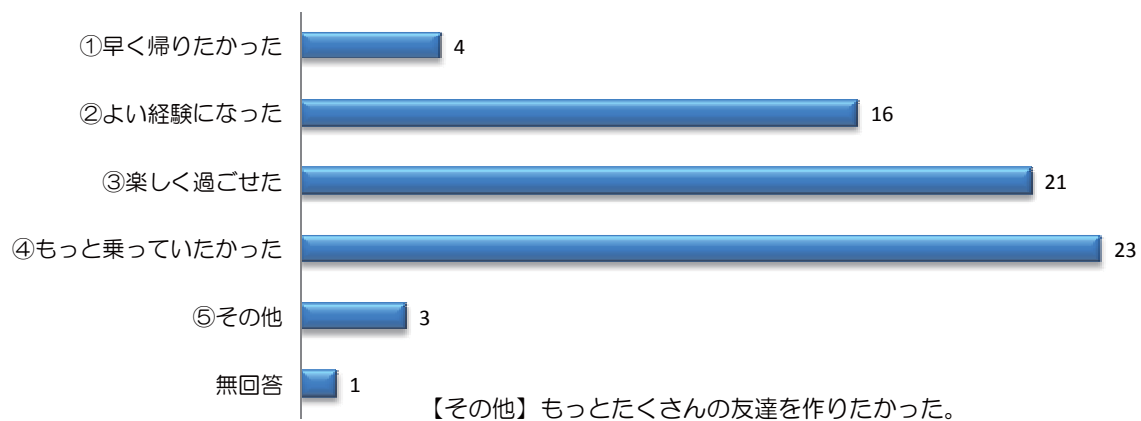
④ 洋上体験研修を終えて
(1)一番楽しかったことは



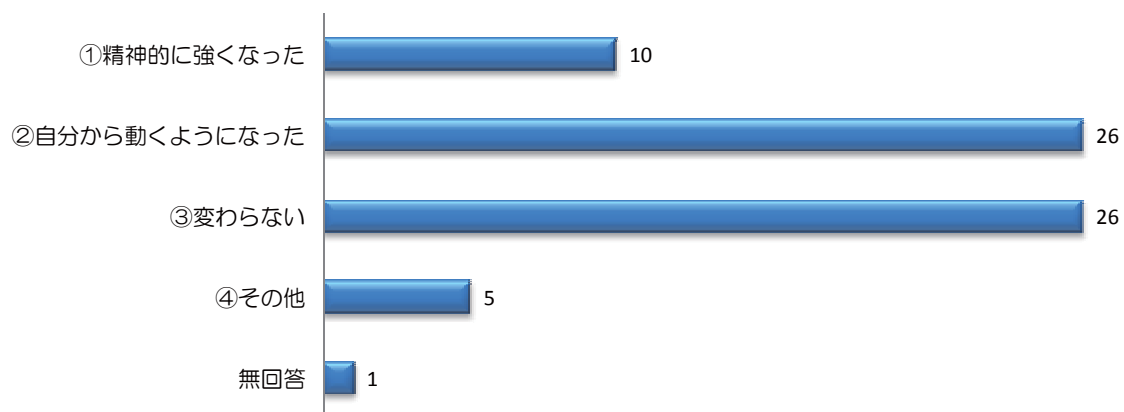
(2)一番つらかったことは



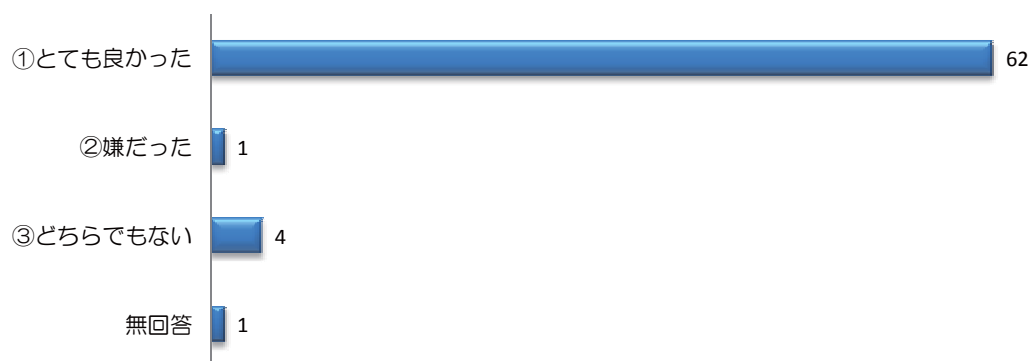
(3) 3日間を振り返って



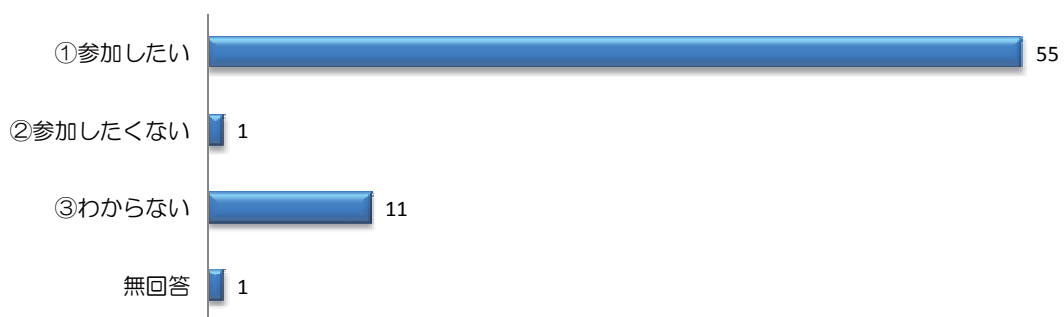
(4) 自分自身について



(5) 他の市町村の中学生との交流について

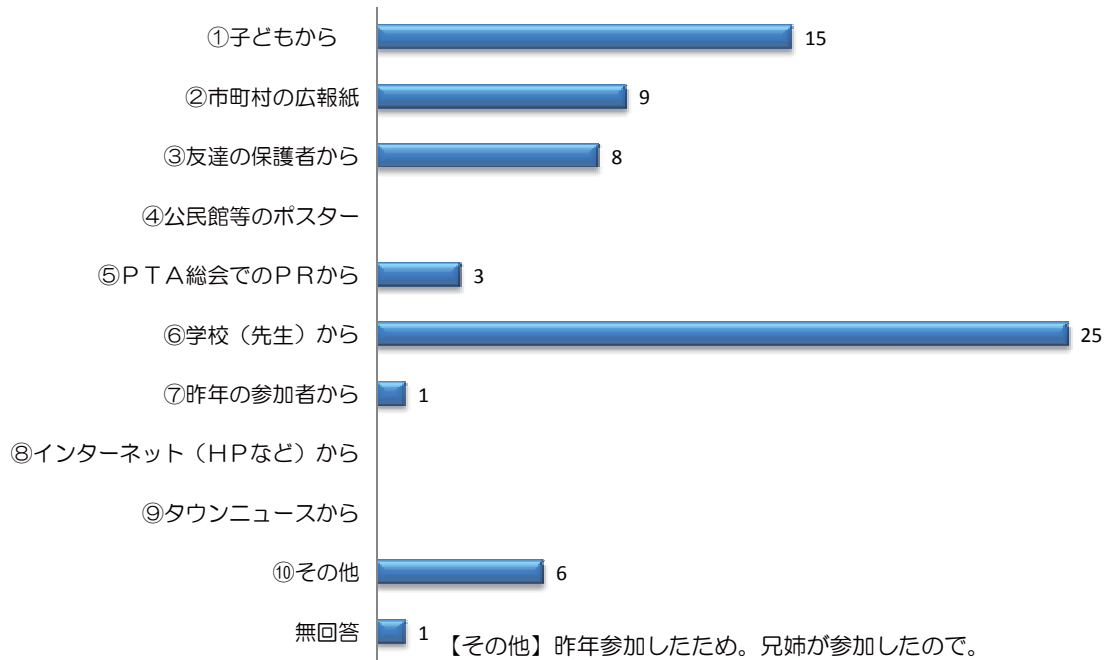


⑤ またあれば洋上体験研修に参加したいですか

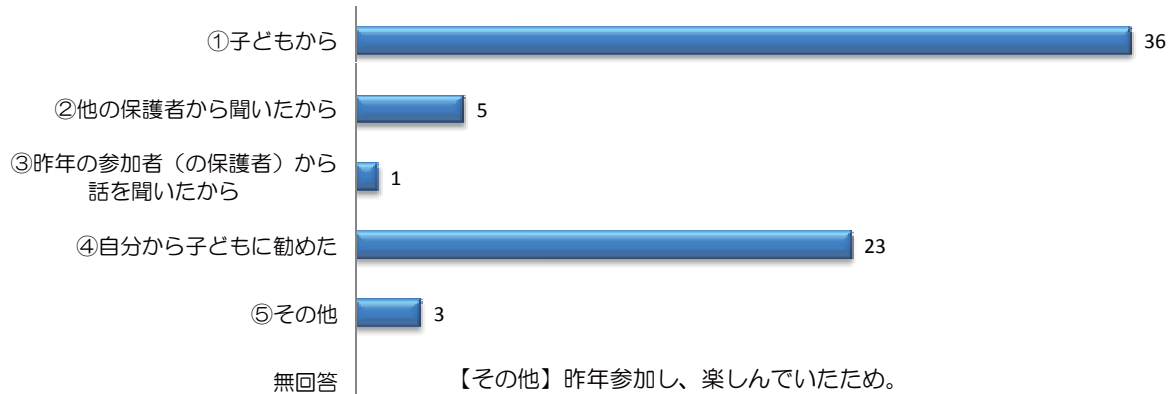


(2) 保護者アンケート（68件/73）

①この事業を知ったきっかけは何ですか。



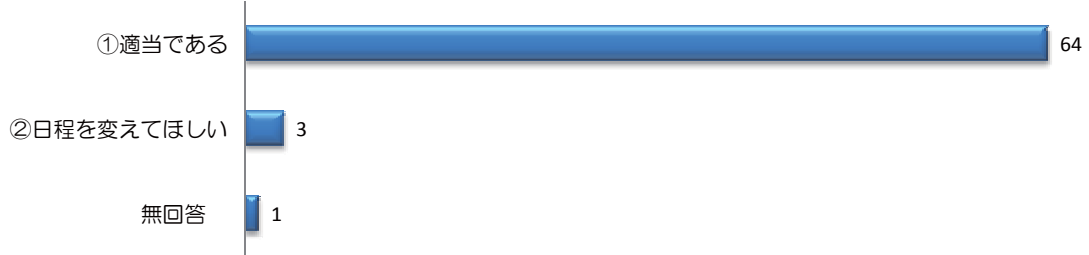
②この事業に申し込んだ理由は何ですか。



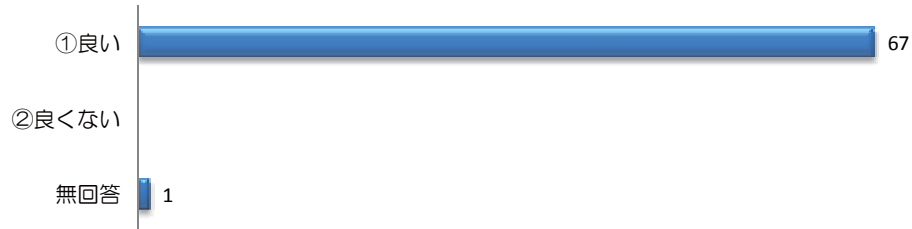
③参加者負担金の18,000円という金額についてどう思いますか。



④ 事前研修（7/20）、本研修（8/1～3）の日程はいかがですか。



⑤ 他の市町村の中学生と交流したことについて



⑥ この研修に参加して、子どもさん本人の態度や考え方が研修前と変わったと思います



何が変わりましたか

1 相手の話を聞くようになった。	8 確実に世界が広がったと思います。
2 食事の配膳を手伝ってくれた。	9 知らない人ばかりの会や場所に行くことを嫌がっていましたが、だいぶ不安感がなくなったようです。
3 学校の仲間とは違う交流により、いろいろな価値観の違いに驚いたりその中でチームワークをとることの達成感を味わえ、良い経験になったと思います。	10 星や海洋に関する本やドキュメンタリー番組に興味を持つようになった。行動日程を事前に把握し、5分前集合行動がよりできるようになった。
4 荷造りを全部自分でしていた。	11 意志が、はっきりしてきたように思えます。
5 明るくなり自信が生まれました。	12 自らお友達に声をかけることができるようになった。
6 船についての興味が出た。	13 人と関わることや新しい事へ挑戦することへの自信が以前よりついたと思う。
7 視野が広がった。とても良い目で帰ってきた。心の柔軟性というか、幅が広がったと思う。	14 初対面、初体験でも、自分でなんとかやれるんだという自信がついたと思います。

(3) 感想

1	2度目の参加でしたが、とても楽しみにしていました。1度目はとにかく船に乗る事を楽しみに参加していましたが、今回は、人との出会いも楽しみにしていました。帰ってきてからも洋上フェスティバルの話が一番楽しそうでした。なかなか経験できる事ではない事をたくさん経験させてくれる洋上研修は、とても大切な事業だと思います。何より他校の生徒と触れ合い、みんなで話し合いながら行動するというのは、これからの成長においてもとても大切なことですし、自身にもなるはずで、中学校時代の思い出の中でも深く残るものである事は間違いないと思います。
2	本人は小学校まで中井町にいて、この研修で友達に会えた事を喜んでおりました。また、全然知らない町の子と同じ班になり、行動を共にしたことで仲良くなったと喜んでおりました。知らない人たちとの団体行動は本人にとって大変なことだったかもしれませんが、良い経験となったはずで。
3	他の市町村の中学生との交流は良い経験だと思います。
4	旅行とは違う船上での生活や経験と市外の友人づくりなど、家庭ではできない事が楽しくできてとても良いと思います。うちの子は、興味の有る事は何でも一人で参加しますが、昨年参加して楽しかったので、友人も誘ったようです。しかし、どの家庭も金額が“高い”と不参加のようでした。私も実際もう少し安くても良いと思います。チラシ、ホームページなどを見ても実際に参加する楽しさが、あまり伝わらないようです。
5	まず、ここに参加する子どもたち、保護者の方々の意識が高いと知っているのも、実際にその空気を感じました。その中でのいろいろな体験と、仲間づくりの中での達成感から得たものは、とても素晴らしいものだったようです。教育企画の賜ものと感銘しています。今でも事あるごとに、楽しかったと生き生きと語ります。来年も行きたいと強く希望しているので、できれば大きな成長を期待したいと思います。
6	家庭ではなかなか体験できない洋上での研修は貴重な経験だったと思います。大変、感謝しています。しかし、スマホ、携帯電話を持たせる必要はないと思います。市町村の担当の方等大人も大勢いらっしゃるの必要ならば、その方から連絡をとればよいのではないのでしょうか。親しくなる大切な時間をスマホで費やしている生徒がいるのは、どうかと思います。そういう過ごし方をする生徒に参加させる意味・意義はあるのでしょうか。意義があるのでしたら船の中で使わせないことを徹底させてほしいです。
7	目上の人、同世代の子との交流は大事だと思っている。しかし、近所や学校では子どもの「イメージ」のようなものができあがっていて、なかなか自分を出せないでいる。なので、このような「普段の自分」を知らない人たちと関わる事。まして、2泊3日という長い時間の体験ができるので「何か、変わるんじゃないか」という期待を強く持った。子どもから「行ってみたいな」と言ってきたので「うん。行っといで」と即答した。うれしかった。研修はとても楽しかったし、自分と同じような趣味・考えを持っている子がいるんだという事も分かり良い体験になりました。
8	子どもには、この研修を通して他校の子どもたちとの触れ合いや、班の中での自分の役割について責任を持ってしっかりと果たしてもらえたらと思い参加させました。目に見える効果ではありませんが、本人の中で何か感じる事があれば幸いです。この研修のように、他校生との触れ合いは、貴重な事だと感じています。
9	研修を通して、多くの経験をし、コミュニケーション能力をさらにつけてほしいと思いました。初めて会う仲間たちともいろいろな話ができたといい、良かったです。一つ一つプログラムが時間的に短く忙しそうにも見えたので、もう少しテーマをしぼってじっくり取り組むものがあったらいいのではないのでしょうか。
10	普段はなかなか見ることも経験することもできないことができたことは、中学生生活の良い思い出となったと思う。
11	旅行ではなく親と離れて集団生活、掃除や船での活動に参加。同年代、知らない者同志の触れ合い。今後は、船の事だけでなく、大学生の参加など枠を広げ、一緒に学校や他の悩みなど話す時間をつくと良いと思う。大人の話は短くして、本人たちが会話する時間を長くすると良いと思います。

12	<p>帰ってきた時の晴れやかな顔を見る限り、行かせて無駄ではなかったと実感しています。思春期を迎え、難しい年頃の息子が色々な中学、年代の子たちと関わりを持ってた事で少しですが口数も増えたように思えます。大勢の仲間とどこかに行くというだけでも、成長する要素が盛りだくさんなのに、お勉強もついてくるとなると、どの親御さんも行ってもらいたかったのではないのでしょうか。我が家は期待以上でした。</p>
13	<p>「あ～楽しかった」と言って帰ってきました。先生方やライフセイバーの方、市役所の方、他の中学校の生徒たちと、いろいろな話しができたことが良かったようです。</p>
14	<p>出発前は同じ中学の仲間同士で話してばかりいて、バスも一緒に座ってましたが、帰りのバスでは他校の生徒と一緒に座っていて、楽しそうにしている姿が見えました。楽しく過ごす事が大好きな息子なので、大勢の仲間といろいろな体験ができ、いい思い出になったと思います。協力する大切さを感じたようです。 TVKで放送されたような内容のDVDを作成し、各学校に配布して生徒に観てもらおう。特にスタンプのような楽しい催しで盛り上がる所をアピールするなど。言葉だけでなく映像で伝えた方が、いろいろ感じると思います。</p>
15	<p>一度も船に乗った事が無かったので参加させてみました。とても楽しかったようで「来年もぜったい行く」と言ってました。秦野市の行事（他の市町村とのキャンプ等）に何度か参加させていただいてますが「中学生」までが多く「高校生になったら何も参加できない」となげいていたので、高校生でも参加できる行事もつくってほしいです。</p>
16	<p>参加したきっかけはお友達からのお誘いでしたが、内容を見てみると、いろいろな市町村からの中学生と交流できる事、普段できない船上での生活等、子どもに経験させてあげたいと思いました。スタッフの方々はとても大変だったと思いますが、子どもたちのお世話をしたくださり、ありがとうございました。忘れ物をしたりご迷惑をたくさんかけてしまったと思います。参加後、子どもに大きな変化はありませんが、この研修に参加した事で大きな経験を通して子どもの成長につながると思います。</p>
17	<p>昨年も参加し、とても楽しかったみたいなので今年も参加させました。友達同志の参加ではなく、1人での参加でしたが、いろいろな学校の子と仲良くなり、いろいろな経験ができたと思います。</p>
18	<p>たくさんの経験をつんでほしく、本人にうながしたところ行きたいとのことで申し込みました。当日行けるかも不安でしたが、なんとか行くことができ帰ってきた時にも良い笑顔だったので行って良かったのだと思いました。親ではさせてあげられない経験です。</p>
19	<p>他市の仲間との出会いはとても貴重な経験となったようです。また、参加している子どもたちを見守る大人にも感謝する気持ちをもって研修を終える事ができて、それは本人が成長した証でもあると思います。「洋上体験」という自然の中での宿泊で多くの学びを得て、本当に参加させて良かったと思います。（中3という事もあり参加を悩んだ時があったので）これからも、中学生対象の研修を是非続けていってほしいと思います。</p>
20	<p>積極性が全くなく、人見知りする子なので少しでも克服できればと思い参加しました。2泊3日とても心配でしたが、少し疲れてはいましたが笑顔で帰ってきたので安心しました。今回の研修で班の子とも仲良く話す事もでき、みんなと協力しながら2泊3日過ごすことができたこと、ニコニコしながら話しをしてくれました。班の先生からも最後に手紙をもらいうれしそうでした。本当に良い体験ができたと思います。</p>
21	<p>普段、こういう企画に興味を持たない子でしたが、お友達に声をかけてもらい参加してみる事になりました。船に長時間乗る事も、知らない人たちと生活を共にする事も、協力しあう事も本人にどう影響するのか、まだ、想像もつきませんが、それでも親ではどうして体験させてあげることができないような事を今回体験させていただいて良かったと思っています。本人はとても楽しかったようで、来年も行きたいと言うほどで、帰ってからも夏休み中は毎日毎日余韻に浸っているようで、思い出話を興奮気味に話していました。現在、何か目立った変化はありませんが、今回の体験は忘れる事はないと思いますし、将来どこかの場面で生きてくるのではと思っています。</p>

22	2泊3日だと遊べる時間が少なかったなので、もっと長い間行ってみたいと思ったそうです。
23	感想文で一番印象に残った事が争いごとになってしまったことを書いていて、他に自然と触れあったことなどより印象に残ったのが、この事だと言うのが残念だと思いました。
24	部活動をしているお子様には難しい時期なので、できれば春休みなど、大きな大会がない時期なら参加者が増えるように思えます。海などでは足を入れられるだけでも良いと思います。
25	普段では経験のできない船での旅や船での生活、初めて会う人達とのコミュニケーションなど色々な事が学べて、本人にとっても良い経験になったのではないかと思います。今後も色々な事にチャレンジし、体験をし、大人になってほしいので、体験型の事業は大賛成です。このような場が、もっともっと増える事を期待します。
26	家族旅行ではできない体験を沢山経験したと思います。目に見えて大きな変化はありませんが、この洋上体験を思い出し、役に立つこともきっとあると思います。
27	船での研修は他ではなかなかできなかったなので、行かせて良かったです。来年は部活が休めそうなら参加させたいです。
28	新しい経験（洋上体験）をすることで、何でも良いので何かを感じてほしかった。非日常で、普段と違う友達と色々な経験ができたと思う。
29	今しかできない体験をし、学校以外の中学生に接する良い体験でもあるので参加させていただきました。今回は、班の中で話が合う友達ができ、ちょっと嫌な事があったけどとっても楽しかった。また参加したいと言っていました。 カメラを持たせたのですが、話し合いの時とかも撮っていたのでそこは注意し、他の場面では様子が見れてよかったです。
30	去年も行ったけど、参加した人は全員同じというわけではないから、沢山のひとと交流できたし、新島のことも去年よりさらに分かってきたり、触れることができました。船の上での生活というのは、もう最後かもしれなかったなので、とても良い体験だったと思っています。あいさつなどのコミュニケーションも取ることで、身近なことに使えると思うので洋上体験はとても勉強になる場所だと思います。
31	3年間洋上体験でお世話になりました。今は本人にはあまり効果はみられないですが親や周りにはわからない成長をしていると思っています。彼の人生のどこかで大いに役立つ3年間の体験をさせていただいたと思います。
32	二年前は、白いTシャツで参加だったのに、今回は自由すぎる気がしました。今年は昨年みたいなことが無かった、星も見えなかったと少し残念そうでしたが3日間楽しく過ごせたみたいで良かったです。
33	帰宅して一番に口から出た言葉は「来年も申し込んでね『来年またこの研修で会おう』と友達と約束してきた」でした。同じ班になり、船内活動やオリエンテーションを通じて心を通わせ、2日目の夜は遅くまで別れを惜しんだそうです。お互い携帯等を持っていないので、1年間再会を楽しみに待つそうです。
34	基本、自発的に行動をするタイプではないのですが、ジュニアリーダーの活動やキャンプなどでは、自分から考えて行動しているようです。家、学校でも自発的に行動してもらえるといいなと思い、今年も参加しました。 現地では2回目ということもあり、自発的に行動していたそうです。帰って来てからは、いつもの指示待ちに徐々に戻ってしまいました。
35	「とっても楽しかった」と笑顔で帰ってきました。他の市町村の中学生との交流がとっても楽しかったようです。中学生という多感な時期にこのような研修の機会に恵まれたことは、本人にとって大きな財産になったと思います。

36	中学生になると、家族の予定を合わせるのがなかなか難しく、泊まりでの旅行など行けないのが現状です。このような貴重な体験を、中学生という難しい成長段階で経験できたということは、一生の宝物になると思います。
37	自分たちだけで、船に乗って宿泊するというのは大変なので、連れて行ってもらえるのは、ありがたいと思います。同じ年頃の仲間たちと船に乗って旅をするというのは、冒険みたいなもので、楽しみであったようですし、帰ってきてからも楽しかったと言っていました。
38	これまで、こうしたことへはあまり積極的でなかった娘から、「洋上体験へ参加したい」との話があった時は、少し驚くとともに、そんな娘の成長を頼もしく思いました。参加前は少し心配していた初対面の参加者との交流も、事前研修の時から「不思議とうまくいった」との話もあり、また実際の本研修でも、より交流が深まったようでもなによりでした。 こうした初対面の人達との交流、また、洋上や新島等、非日常であったり、大いなる自然に囲まれたりした中での様々な体験は、今回のような企画・公募がなければなかなか経験することのできないものであり、本当に貴重なそして実り多い体験研修だったと思います。今回の様々な体験が、今後、本人の自信や成長へと確実に繋がっていくことと思います。
39	船の中で泊まる事などなかなか体験できない事なので、ぜひ参加させたいと思い応募しました。実際、参加させてもらい、子ども本人もすごく楽しかったようです。いろいろな体験をして帰ってすぐに私に話をしてくれました。友達が沢山できたようで喜んでいました。松田町は、幼稚園、小学校、中学校と1校づつしかないのも、なかなか新しいお友達をつくる事が難しく、こうしていろんな学校のお友達と触れ合う事ができて良かったと思います。今までやった事のない物もあり、帰ってきて少し自信もついたようです。
40	家族、友達とお泊りするのではなく、知らない他の市町村の中学生と交流し、また、船での生活などはなかなか体験できるものではないので、是非参加させたいと思いました。研修の日程なども見させて頂きましたが、色々な体験ができるようになっていたので、子どもたちも楽しめるなあと思いました。本人に洋上体験での感想を聞きましたら、また来年も参加したいと言っておりました。今年の夏の1番の思い出になったと思います。
41	子どもがよく「サバイバル生活（無人島生活）」の番組が好きで見てるので、中学生になったので、似たような事を体験させたいと思い、本人からの要望も強かったので参加応募しました。
42	決して個人的に体験できるような内容のものではないので、たいへん刺激を受けて帰ってきました。これまでは計画的に物事を進めることが苦手でしたが、事前研修からとても楽しかったようで、自主的に準備を始めていました。洋上フェスティバルの脚本作りにも力を入れており、同じ班の子たちと交流のおかげで少し自立心が育ったと思います。研修後は中学校へ提出する夏休みの課題の1つとして、洋上研修で行った海洋実験についてのレポートを作成し、提出する予定です。
43	今回は、本人の強い希望もあり、普段経験できないことやまた他地区の生徒との交流もできると思い参加させました。帰宅して第一声が「あと1週間くらい行ってきたかった」でした。天気にも恵まれ、楽しい研修だったようです。日数的には考え方や生活態度などが変わるということまではいきませんでした。とても貴重な体験をさせて頂いたと思います。ただ残念なのはせっかく友達になれた他地区の子との連絡先の交換をしなかったそうです。
44	初対面の人たちとの交流の楽しさを感じてほしかったことと、大きな船に乗れること、色々な遊びを体験できるので参加させていただきました。とても楽しかったようで、お友達もできて来年も行く約束もしてきたようです。
45	ほとんど友人などと遊んだり出かけることがなく、休みの日も家族と過ごし、他人と上手く話をしたり付き合えるのか心配でしたので、家族がいないイベントに参加させました。本人はとても楽しく、友人もできたと言っていたので良かったです。

46	2泊3日という短い日程のため、どうしても深い交流をする事や普段とは違う生活の中で、自分を振り返ったりということはなかなか難しいと思います。ただ、ものすごく貴重な体験ができる機会ですので、ぜひ続けていってほしいと思います。色々、それぞれの学校や部活等、事情があると思いますが、せっかくの機会なので、もっと積極的にバックアップできるよう伝えていただきたいと思います。
47	今回、この事業に参加させた理由は、いつも人数の少ない学校で生活しているので、子どもにたくさん友達をつくって来てほしくて参加させました。期待通り、帰ってきたら、たくさん友達ができて本当に楽しかったとたくさんの思い出話をしてくれました。それと同時に、来年またこの事業に参加して今回できた友達との再会を約束したそうです。
48	船での事故についての心配もありましたが、子どもの行ってみたい、体験してみたいの一言で、自分から行動し、沢山の友達と行動できる楽しさが体験できともて良かったと思っています。参加する前と後では、まったく違う表情で元気になりました。
49	普段体験することのできない船での生活や海洋の知識や経験を得ることができて良かったと思います。また、清川村という小さな集団での生活環境にいたので、他の市町の子ともと関わりを持てたこともとても良かったです。船酔いなども心配してましたが元気に楽しく過ごせたようでした。
50	他の学校の様々な生徒と交流し、視野を広め、また、普段経験できない、洋上体験という船の上での生活や島での体験を通じ、考え方を広めたり、また、深めたりしながら、子どもなりに、何かを感じてもらえればと思い参加させました。また、このような経験は、一生記憶に残るものだと思います。これから生きていく上で、このような経験は、必ずプラスのものとして、生きていくと思います。子どもが家に帰った直後の第一声は、「ものすごく楽しかった。帰り別れる時、泣きそうだった」と言っていました。いつもシャイな彼の口から、このような言葉を聞く事ができ、とても貴重な体験をさせて頂き、親としてもこの上なくうれしいです。期待以上のものを子どもは受けとったものと感じています。
51	子どもの人数も少なく、小さい頃から中学校まで1クラスの同じメンバーなので、学校とは全く違う同年代の人たちと関わる事ができて、とても成長できたと親子ともに実感しています。「かわいい子には旅をさせよ。」少し親元を離れて、友だちと協力し合ったり、困ったりする事が成長に繋がっていくと思います。来年も是非参加させたいです。
52	他校の中学生と交流を持ってほしくて子どもに参加を勧めました。子どもから話を聞くことはできませんでしたが、「楽しかった。昨年行けば良かった」と言われたので、参加できて良かったと思います。
53	少人数の生活になれすぎて、クラス替えなど体験した事がなかったので、「知らない人と何かする」という研修や合宿など、嫌がって参加しませんでした。最初の研修に行った時から、「とりあえず嫌がる」という事がなくなりました。大きな前進だと思います。最初は嫌がっていたので、説得して参加させて、本当に良かったと思います。
54	中学校生活の1ページとして、洋上体験は長い将来の中で思い出に残る事は言うまでもありません。洋上体験を通じて自立性、協調性等共同生活の中で何かを学んでもらいたい、そんな気持ちで洋上体験に参加させました。参加の一番は、本人の意思が強かったことでもあります。何を期待したのか、共同生活をお互いに理解しての行動等を身に付けることでした。効果は、表面には変化はありませんが、内面的な強さが高まったと思います。
55	初めての船の旅だったので、本人もかなり疲れた様子でした。
56	小規模校であるため、同年代の子と関わる機会が少ないので、もっといろいろな人と出会い、交流を深めてもらいたいと思い、3年間参加させていただきました。参加者の中でも最高学年ということで、前回、前々回と参加した経験を生かして皆さんと交流することができたようです。

※ 感想の中には、スタッフへの心温まるお言葉や、本事業の継続実施を望むご意見を多数いただきましたが、割愛をさせていただきました。ありがとうございました。

6. 資料

(1) 望星丸概要

(ア) 資格

遠洋、国際航海、旅客船(第一種船)、
(海洋調査練習船)

(イ) 船級

NK:NS*MNS* Ice Class ID
Passenger/Training Ship

(ウ) 主な内容

ア 全長	87.98m
イ 垂線間長	75.00m
ウ 幅(型)	12.80m
エ 深さ(上甲板、型)	8.10m
オ 満載喫水	4.80m
カ 国際総トン数	2174 t
キ 登録総トン数	1777 t
ク 燃料油タンク	401m ³
ケ 清水タンク	185m ³
コ バラストタンク	345m ³
サ 試運転最高速度	19.10 ノット
シ 航海速度	17.00 ノット



望星丸は、海洋調査・研修公開・航海実習に使用される多目的船です。

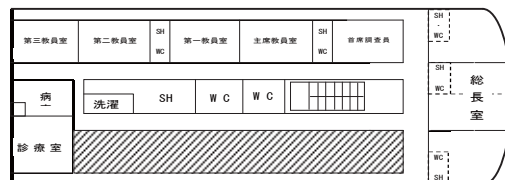
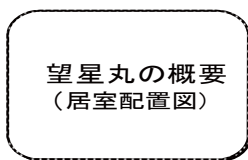
海洋・水産調査の機器を備えており、東海大学海洋学部の実習・研究を行うほか、官公庁の調査研究や関係機関との交流事業・海洋イベントの母船としても活躍しています。

(エ) 乗船定員

ア 乗組員	33 名
イ 教員・調査員	17 名
ウ 実習研修学生	120 名
エ 練習学生	20 名
計	190 名 (含乗組員)

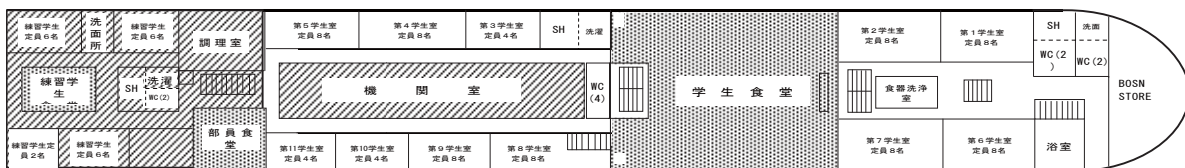
(オ) 安全設備

ア 救命艇	部分閉囲形 89 名定員	信貴造船	2 艇
イ 救命艇	複合型 6 名定員	東洋ゴム	2 艇
ウ 救命筏	膨張式 25 名定員	三菱電機	4 組
エ CO ₂ 固定消火装置(機関室用)		川重防災	1 式
オ スプリンクラー装置		能美防災	1 式
カ 火災探知警報装置		能美防災	1 式

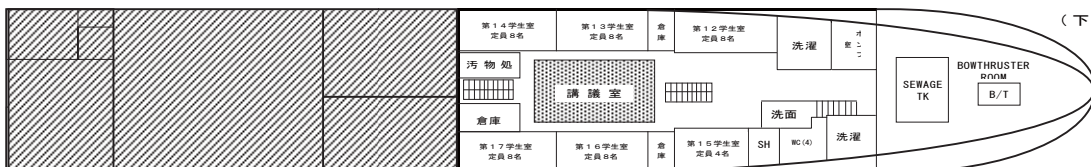


BOAT DECK
(船艇甲板)

(中甲板)



LOWER DECK
(下層甲板)



WC: トイレ
SH: シャワー

(2) 平成27年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業実施要項

1 趣旨

この事業の趣旨は次のとおりとする。

- (1) 秦野市、中井町、大井町、松田町、二宮町及び清川村（以下1市4町1村という。）が市町村の枠を越えて東海大学の望星丸を用船し、中学生の体験研修事業を連携して行う。
- (2) 1市4町1村の中学生が船上の集団生活を通じて交流と連帯を深めることにより、自主性、協調性及び他人を思いやる心を養う。また、日頃経験できない洋上生活を行うことで心身を鍛える。
- (3) 海洋観測や星空観察、島の歴史や自然にふれあうことにより、自然のすばらしさ、厳しさを体験する。

2 主催等

主催 秦野市・秦野市教育委員会

共催 中井町・中井町教育委員会、大井町・大井町教育委員会、松田町・松田町教育委員会、二宮町・二宮町教育委員会、清川村・清川村教育委員会

3 事業の概要

(1) 事前研修

本事業に参加する中学生（以下「研修生」という。）に対して、本事業の趣旨、内容等についての理解を深め、本研修に必要な準備をさせるとともに、研修生相互の交流を図る。

また、団体行動の規律を徹底させ、本研修における各自の役割を分担させる。

- ・期日 平成27年7月20日（月・祝）
- ・場所 秦野市立保健福祉センター多目的ホール

(2) 本研修

- ・期日 平成27年8月1日(土)から3日(月)まで2泊3日
- ・行程 秦野市役所→清水港→新島→清水港→秦野市文化会館
(秦野市役所～清水港は大型バスを利用)
- ・使用船舶 学校法人東海大学海洋調査研修船「望星丸」1, 777t
- ・内容 船上…海洋観測、星空観察、グループワーク、
洋上フェスティバルなど
陸上…自然観察、海水浴、露天風呂など

※ 1市4町1村の首長が乗船し、青少年育成のための新たな広域連携について話し合う「洋上サミット」を8月1日、2日に開催

4 広域連携中学生交流洋上体験研修事業参加者の構成

(1) 広域連携中学生交流洋上体験研修事業参加者は総勢106名とし、構成は次のとおりとする。

1 統括責任者	1名
2 運営管理者	1名
3 指導主任	1名
4 指導担当	5名
5 看護担当	2名
6 運営担当	8名
7 安全担当	3名
8 研修生	85名

(2) その他、当事業の実施に当たり実行委員長が必要と認めた者については、定員の範囲内において参加を認める。

5 構成員の任務等

(1) 任務

ア 統括責任者は、参加者を代表するとともに、全体を統括する。

イ 運営管理者は、統括責任者を補佐するとともに看護担当、運営担当を指導し、東海大学など外部との調整を行い、参加者全体を統括する。

ウ 指導主任は、統括責任者と連絡を密にするとともに、指導担当を統括し助言を与える。

エ 指導担当は、指導主任と連絡を密にするとともに、研修プログラムの企画運営及び研修生の指導的役割を担当する。

オ 看護担当は、参加者の保健、衛生について担当する。

カ 運営担当は、運営管理者及び指導主任と連絡を密にするとともに、庶務を担当する。また、指導担当を補助し、研修生の活動を支援する。

キ 安全担当は、船内や船外での研修生の活動時の安全確保や緊急時対応を担当する。

ク 研修生は、団体行動のもとに研修に参加し、役割を分担する。

(2) 選任等

ア 統括責任者については、実行委員会が指名するものとする。

イ 研修生の決定は、応募者の中から応募資格の規定に基づき、予め実行委員長が行い、実行委員会の承認を得るものとする。

ウ 研修生として不適当と認められる者については、研修前後を問わず研修生の資格を取り消すものとする。

エ 事業の円滑な実施を図るため、広域連携中学生交流洋上体験研修事業運営委員会を設け、その組織・運営については、実行委員会で決定する。

6 研修生応募資格及び募集方法

(1) 応募資格

- ア 1市4町1村に居住している中学生。
- イ 事前研修を含め、全日程に参加できる人。
- ウ 主催者の指示、注意を守り、規律ある集団生活ができる人。
- エ 健康状態が良好である人。

(2) 募集方法

公募とし、所定の参加申込書に必要事項を記入し、1市4町1村の広域連携中学生交流洋上体験研修事業の担当課に提出する。

(3) 募集期間

平成27年5月15日（金）から6月5日（金）まで

7 研修生の参加負担金

参加する研修生の負担金は、18,000円とする。

8 本事業後の活動

参加者は研修後、自主的に地域青少年団体や青少年施設等における活動に参加することにより、研修の経験を活かすように努める。

9 その他

この要項に定めるものの他、本事業の実施に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この要項は、平成27年4月28日から施行し、この事業が終了する日限り、その効力を失う。

(3) 平成27年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会規約

(名称)

第1条 本会は、広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会と称する。

(目的)

第2条 本会は、広域連携中学生交流洋上体験研修事業実施要項の趣旨に従い、洋上体験研修事業について協議する目的で設置する。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を推進する。

- (1) 事業の企画立案、実施及び評価・反省に関すること。
- (2) 運営委員会の組織・運営等に関すること。
- (3) 目的を達成するための調査・研究に関すること。
- (4) その他、目的達成に必要な事項に関すること。

(構成)

第4条 本会は、別表に掲げる者で構成する。

(役員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1) 実行委員長 1名
 - (2) 副実行委員長 2名
 - (3) 監査 1名
- 2 役員は、委員の互選とする。
 - 3 実行委員長は、本会を代表し、事業の総体的事項を統括する。
 - 4 副実行委員長は、実行委員長を補佐し、実行委員長に支障があるときは、その職務を代行する。
 - 5 監査は、会計の監査にあたる。

(顧問)

第6条 事業の総合的な企画・運営に関する相談役として顧問を置く。

- 2 顧問は、秦野市、中井町、大井町、松田町、二宮町及び清川村の教育長とする。

(会議)

第7条 本会は、実行委員長が招集する。

- 2 会議の議長は、実行委員長がこれにあたる。

(事務局)

第8条 本会の事務局は、秦野市教育委員会教育部生涯学習課内に置く。

- 2 事務局は、実行委員会との連絡調整及び事業推進にあたる。

(その他)

第9条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は実行委員会の中で協議して定める。

附 則

この規約は、平成27年4月28日から施行し、この事業が終了する日限り、その効力を失う。

平成27年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会名簿

	団体名	氏名		役職
1	学識経験者	野村 幸雄	元くずは青少年野外センター長	実行委員長
2	P T A関係者	大倉 健二	秦野市P T A連絡協議会 会計	監査
3	秦野市教育関係者	松本 和信	秦野市立大根中学校長	副委員長
4	中井町教育関係者	米山 伸	中井町立中井中学校長	
5	大井町教育関係者	小林 俊哉	大井町立湘光中学校長	
6	松田町教育関係者	根津 憲一	松田町立寄中学校長	
7	二宮町教育関係者	鈴木 透	二宮町立二宮西中学校長	
8	清川村教育関係者	小島 一浩	清川村立緑中学校長	
9	行政関係職員	水野 和成	秦野市教育委員会教育部長	副委員長
10	行政関係職員	栗原 豊	秦野市政策部長	

実行委員会顧問

1	秦野市教育委員会教育長	内田 賢司
2	中井町教育委員会教育長	岩本 明人
3	大井町教育委員会教育長	夏苅 一壽
4	松田町教育委員会教育長	鈴木 良三
5	二宮町教育委員会教育長	府川 陽一
6	清川村教育委員会教育長	岩澤 吉美

事務局

1	秦野市教育委員会教育部生涯学習課	課長 佐藤 正男、課長代理 磯崎 篤、主任主事 小泉 祐介
2	秦野市政策部企画課	主査 櫻井 秀樹
3	中井町教育委員会教育課	主事 宇佐美 友紀
4	大井町教育委員会生涯学習課	主事 小瀬 さかえ
5	松田町教育委員会教育課	主任主事 吉田 優奈
6	二宮町教育委員会生涯学習課	主事 佐藤 朝美
7	清川村教育委員会事務局社会教育係	主査 櫻井 孝之

(4) 平成27年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業運営委員会規約

1 構成及び選任について

広域連携中学生交流洋上体験研修事業運営委員会（以下「運営委員会」という。）は、広域連携中学生交流洋上体験研修事業実施要項（以下「要項」という。）に基づき、原則として21名で構成する。

また、選任については、広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会が決定する。

2 任務について

運営委員会は、要項に基づき広域連携中学生交流洋上体験研修事業（以下「研修事業」という。）の研修プログラムの運営及び研修生の指導的役割を担う。

3 運営委員会の役割分担について

研修事業を円滑に運営するため、役職を次のとおり定める。

また、指揮系統を明確にするための組織は別紙のとおりとする。

1 統括責任者	1名
2 運営管理者	1名
3 指導主任	1名
4 指導担当	5名
5 看護担当	2名
6 運営担当	8名
7 安全担当	3名

4 運営委員会議の開催について

運営委員会議は、秦野市教育委員会教育部生涯学習課（以下、生涯学習課という。）と調整しながら随時開催するものとする。

5 その他

この規約に定めるほか、本事業に関して必要な事項は運営委員会と生涯学習課で協議する。

附則

この規約は、平成27年4月28日から施行する。

平成27年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業運営委員会名簿

◎乗船スタッフ名簿

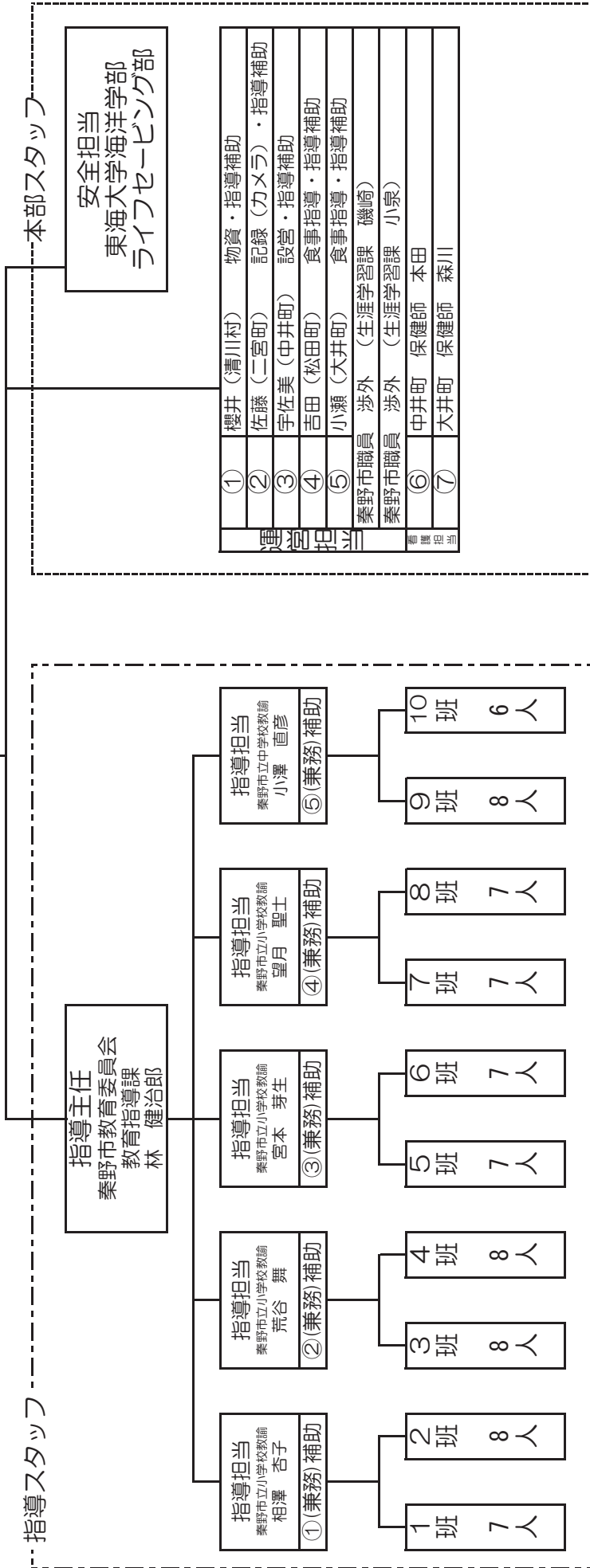
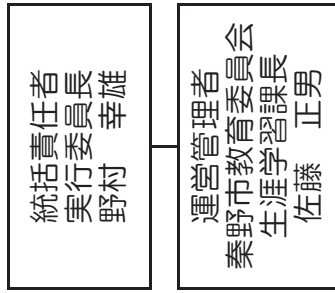
＜本部スタッフ＞

No.	役 割	氏 名	性 別	所 属	職 名
1	統括責任者	野村 幸雄	男	広域連携中学生交流洋上体験 研修事業実行委員会	実行委員長
2	運営管理者	佐藤 正男	男	秦野市生涯学習課	課長
3	運営担当	磯崎 篤	男	秦野市生涯学習課	課長代理
4	運営担当	小泉 祐介	男	秦野市生涯学習課	主任主事
5	運営担当	宇佐美友紀	女	中井町 教育 課	主事
6	運営担当	小瀬さかえ	女	大井町生涯学習課	主事
7	運営担当	吉田 優奈	女	松田町 教育 課	主任主事
8	運営担当	佐藤 朝美	女	二宮町生涯学習課	主事
9	運営担当	櫻井 孝之	男	清川村社会教育係	主査
10	看護担当	本田 裕	男	中井町健康課	保健師
11	看護担当	森川真紀子	女	大井町子育て健康課	保健師
12	安全担当	齋藤 寛	男	東海大学海洋学部	教授
13	安全担当	嶋田 廣人	男	東海大学海洋学部 ライフセービング部	学生
14	安全担当	伊藤 光	女	東海大学海洋学部 ライフセービング部	学生
15	安全担当	程原 杏	女	東海大学海洋学部 ライフセービング部	学生

＜指導スタッフ＞

No.	役 割	氏 名	性 別	所 属	職 名
16	指導主任	林 健治郎	男	秦野市教育指導課	指導主事
17	指導担当	小澤 直彦	男	秦野市教育指導課	指導主事
18	指導担当	相澤 杏子	女	秦野市立大根小学校	教諭
19	指導担当	荒谷 舞	男	秦野市立渋沢小学校	教諭
20	指導担当	宮本 芽生	女	秦野市立広畑小学校	教諭
21	指導担当	望月 聖士	男	秦野市立西小学校	教諭

平成27年度運営組織図



(5) 研修スケジュール

時	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
1日目		秦野市役所出発 受付・出発式	富士川SA休憩 バス移動	清水港到着・乗船	清水港出港	船内オリエンテーション 緊急招集訓練	昼食		船内見学	下船準備	新島港入港	露天風呂	乗船・新島港出港	(デッキディナー) 夕食	班内会議	星空観察	航海日誌の記入	消灯
2日目		朝のつとい・清掃 起床	朝食	下船準備	新島港入港	ウォークラリー	昼食	記念のお土産探し	海水浴	露天風呂	乗船・新島港出港	班内会議	夕食	洋上フェスティバル		航海日誌の記入	消灯	
3日目		朝のつとい 起床	朝食	大掃除	海洋に関する講話 海洋観測	昼食		下船準備	清水港着	帰港式	清水港出発	足柄SA休憩 バス移動	秦野市文化会館着 解散式	解散				

(6) 洋上サミット

今回の洋上体験研修では、研修生が住んでいる市町村の首長や、教育長も一緒に乗船し、「洋上サミット」が開催されました。

洋上サミットでは、「広域（ちいき）ではぐくむ生きる力 ～子どもたちの体験活動～」をテーマに、各市町村で実施する様々な体験事業の紹介や子どもたちの育成についての意見交換を行い、次のとおり、洋上サミット宣言を採択しました。

<出席者>

古谷 義幸（秦野市長）
杉山 祐一（中井町長）
夏苅 一壽（大井町教育長）
本山 博幸（松田町長）
村田 邦子（二宮町長）
岩澤 吉美（清川村教育長）



平成27年度洋上サミット宣言

秦野市、中井町、大井町、松田町、二宮町及び清川村の1市4町1村は、緑あふれる丹沢の山々に囲まれ、また、清らかな水の流れが相模湾に注ぐ、山、川、海の恵みをいっぱいを受けた自然豊かな地域です。

情報社会の伸展や家庭環境の変化に伴う子どもたちの体験不足が言われて久しく、また、少子高齢化・人口減少社会を迎える中であって、次代を担う子どもたち一人ひとりの「生きる力」をはぐくむことは、私たちの責務です。

1市4町1村は、この洋上サミットを通じた共通の理解のもとで、子どもたちの「生きる力」を育てるため、ともに協力し合いながら次の事項について取り組むことを宣言します。

- 一、地域の豊かな自然を守りながら、子どもたちの心を育てるさまざまな自然体験の機会の確保に努めます。
- 一、地域の産業振興を図りながら、子どもたちの自主性・自律性を養うさまざまな社会体験の機会の確保に努めます。
- 一、1市4町1村が持つ、それぞれの個性を保ちながら、相互に共有・補完し合い、子どもたちの育成に努めます。

平成27年 洋上サミット 出席者名簿

1 サミット出席者

	氏 名	所 属
1	古 谷 義 幸	秦野市長
2	杉 山 祐 一	中井町長
3	夏 苅 一 壽	大井町教育長
4	本 山 博 幸	松田町長
5	村 田 邦 子	二宮町長
6	岩 澤 吉 美	清川村教育長

2 市町村職員

7	栗 原 豊	秦野市政策部長
8	権 守 章	中井町企画課長
9	川 野 治	大井町企画財政課長
10	吉 田 利 光	松田町政策推進課長
11	志 賀 道 郎	二宮町企画政策課長
12	川 瀬 久 弥	清川村政策推進課長
13	串 田 浩	秦野市企画課長
14	内 海 元	秦野市企画課課長代理
15	櫻 井 秀 樹	秦野市企画課主査
16	大 森 祐 介	秦野市広報課主事

3 報道関係者

17	佐藤 将人	神奈川新聞社
18	阿部 洋己	ビデオコミュニケーションズ
19	亀岡 弘之	ビデオコミュニケーションズ

8月4日 神奈川新聞

大自然で自立後押し

8/4神

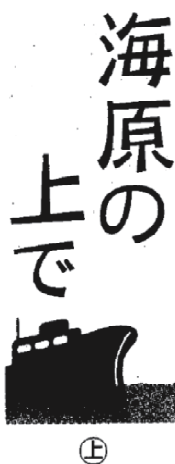
秦野市など1市4町1村の中学生が参加する「青少年洋上体験研修」が、東海大学の海洋調査練習船「望星丸」を使って1日から3日にかけて行われた。15年目を迎えた今年は、7年ぶりに参加自治体の首長らが乗船して広域連携を通じた青少年育成について考える「洋上サミット」も開催された。記者も同船し、サミットの様子や子どもたちの「一夏の体験」を追いかけた。

研修は静岡市清水区の「広域ではぐくむ生きる清水港を出港し、伊豆諸島の新島（東京都）沖で2泊。その間、子どもたちは船内見学などのほか、新島に上陸して露天風呂や海水浴を楽しむ3日間の日程だ。

「一夏の体験」を追いかけた。 (佐藤 将人)

研修は静岡市清水区の「広域ではぐくむ生きる清水港を出港し、伊豆諸島の新島（東京都）沖で2泊。その間、子どもたちは船内見学などのほか、新島に上陸して露天風呂や海水浴を楽しむ3日間の日程だ。

午後に行われ、古谷義幸 秦野市長、杉山祐一 中井町長、本山博幸 松田町長、村田邦子 二宮町長に加え、大井町と清川村の教育長が参加。テーマを



秦野市など1市4町1村

中学生ら体験研修



また宣言後の7年間で、各自自治体を実施してきた小中学生向けの体験事業の事例発表を行った。中井町は山形県戸沢

村との交流事業として、両自治体の小学6年生による相互訪問・ホームステイを報告。同町の杉山町長は「子どもの育成にとって、自治体の枠組みを超えた社会、自然体験を与えるのは不可欠」と強調した。

特色ある事業をやっている。徐々に（宣言の理念へ）成果が上がってきている」と手応えを話した。その上で、15年の洋上サミット宣言「地域の自然を守りながら子どもたちに体験をする場を与えることで、個性を伸ばし、また自立につなげていこう」を新たに採択した。

古谷市長は「今の子どもたちには『体験』が不足している。親が忙しく、子どもも習い事などで時間が取れない中、大人が体験の機会を与える必要がある。県西部が広域に連携することで、山・川・海の豊かな自然の中で子どもたちを育成していきたい」と展望を話した。

その宣言通りに新島に着岸すると早速、露天風呂などを「体験」した子どもたち。2日目は海水浴など、待ちに待った時間がやって来た。

採択した「洋上サミット宣言」を手にする1市4町1村の首長と教育長ら
|| 新島沖の望星丸

海原の上で



① 神

近いところなんて信じられなかった。船上での生活も楽しかったし、大海原で仲間と友達になれたし、また来年も参加したい」と喜んでいました。

実際にこの研修に参加して、船乗りになろうと決め、東海大学海洋学部に進んだ生徒もいたという。

「一夏の体験」を将来にどう生かしていくのか。ただ、中学3年生は「帰ったら塾の夏季講習です...」。それも夏か。

(佐藤 将人)

一夏の思い出刻み

上陸しての研修。もちろんきれいな砂浜での時間もとつてある。

まずその前に島内を歩い、ロディーが多いのは、携帯で観光だ。至る所にモアイ像ならぬ「モヤイ像」が置か。優勝は桃太郎をキヤいてあるのは、助け合いのベツから生まれた「キヤ意味を持つ「催合」から来ベツ太郎」にした班。定番ているとか。由来を知って、それをきび回子代わりに「あの顔キモくない？」な使つていて、脚本の妙が光どと面口がつて写真に収めつた。

最終日は朝から船内を大掃除した後、海洋観察と水浴。透明度の高い海に夕して水深千超の海上で海イブするときの顔は一番輝洋深層水をくみ上げるなどいていた。乗ってきた東海大学海洋調査練習船「望めて海水浴をしたという素星丸」に同船した、ライフ野市立南が丘中学1年の井手篤大君(17)は「新島は海洋学部が本場にきれいで、東京に

6市町村 新島の自然に笑顔



海に入ってはしゃぐ子どもたち—東京都新島

5月15日 広報はだの

参加者募集

夏の思い出をつくろう 中学生洋上体験研修



船上で育む友情

東海大学の海洋調査船「望星丸」で、中井・大井・松田・二宮町、清川村の中学生と一緒に海水浴や海洋観測などを体験しませんか。

とき 8月1日(土)～3日(月)

事前研修 7月20日(月)

渡航先 新島(東京都) ※海洋状況により変更あり

対象 市内在住の中学生35人(申し込み先着順)

費用 1万8000円

申し込み 申込書(市役所西庁舎3階生涯学習課、公民館、はだのこども館、市ホームページにあります)を、6月5日(金)までに生涯学習課へ持参(郵送は不可)

問い合わせ 生涯学習課 ☎(84)2792

5月28日 タウンニュース

海上で2泊3日の生活

中学生対象 参加者募集

秦野市内在住の中学生を対象に、東海大学海洋調査船「望星丸」に乗り、海洋、星空観測、海水浴や露天風呂を体験する「洋上体験研修」の参加者を募集中。応募締め切りは6月5日(金)。

8月1日(土)に出航し、船上で海洋調査、新島で海水浴などを行う。同3日(月)に帰還するまでの2泊3日。定員は35人で、参加資格は、事前研修を含め全日程参加可能。健康であることなど。参加費用として1人1万8千円が必要。申し込み書は各公民館、各中学校ほか市ホームページで入手できる。市内他、大井町、中井町などからの参加中学生とともに生活する。



船上での様子

申し込み、問い合わせは生涯学習課 ☎0463・84・2792へ。

6月13日 タウンニュース

海上で2泊3日の生活

中学生対象 参加者募集



船上での様子

秦野市内在住の中学生を対象に、東海大学海洋調査船「望星丸」に乗り、海洋調査、星空観測、新島で海水浴などを体験する「洋上体験研修」の参加者を募集中。8月1日(土)から3日(月)までの2泊3日。大井町、中井町などからの参加中学生とともに生活する。定員は35人で、参加資格は、事前研修を含め全日程参加可能。健康であること

8月22日 タウンニュース



船上で清掃を行う参加者(秦野市提供)

2泊3日海上での生活

近隣中学生が交流

1市4町1村の中学生が対象の広域連携中学生交流洋上体験研修が、8月1日から3日に行われ、秦野市からは33人が参加した。東海大学の海洋調査船「望星丸」に乗り、海洋、星空観測、海水浴や船内での生活を楽しんだ。初めは他人行儀だったが、炊事や洋上フェスティバルで意気投合、天候にも恵まれ、普段味わえない空間での共同生活で交流を深めた。また、各自治体の首長等も同乗。これまでの広域交流を確認し、今後について広域で行っていく旨の宣言を行った。

など。費用は1人1万8千円。申し込み書は各公民館、各中学校ほか市ホームページで入手できる。応募締め切りは6月30日(火)。申し込みは生涯学習課 ☎0463・84・2792へ。



広域連携中学生交流洋上体験研修事業実行委員会

主催 秦野市・秦野市教育委員会

共催 中井町・中井町教育委員会

大井町・大井町教育委員会

松田町・松田町教育委員会

二宮町・二宮町教育委員会

清川村・清川村教育委員会